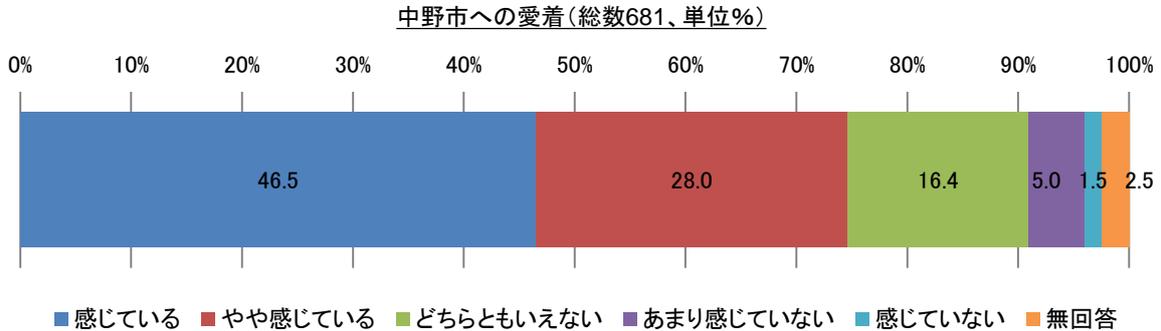
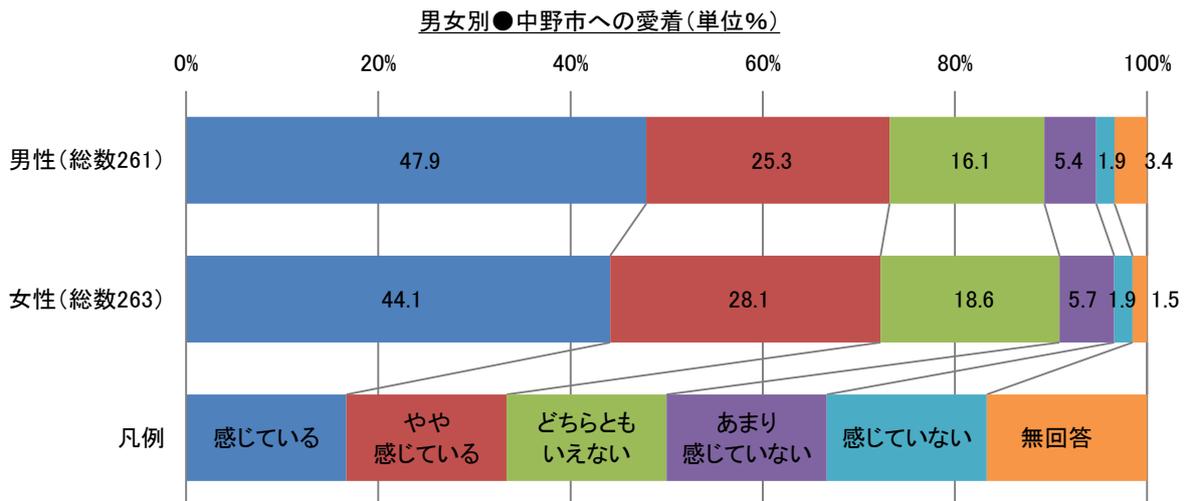


満足度調査

問1 あなたは、中野市に愛着を感じますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、○をしてください。

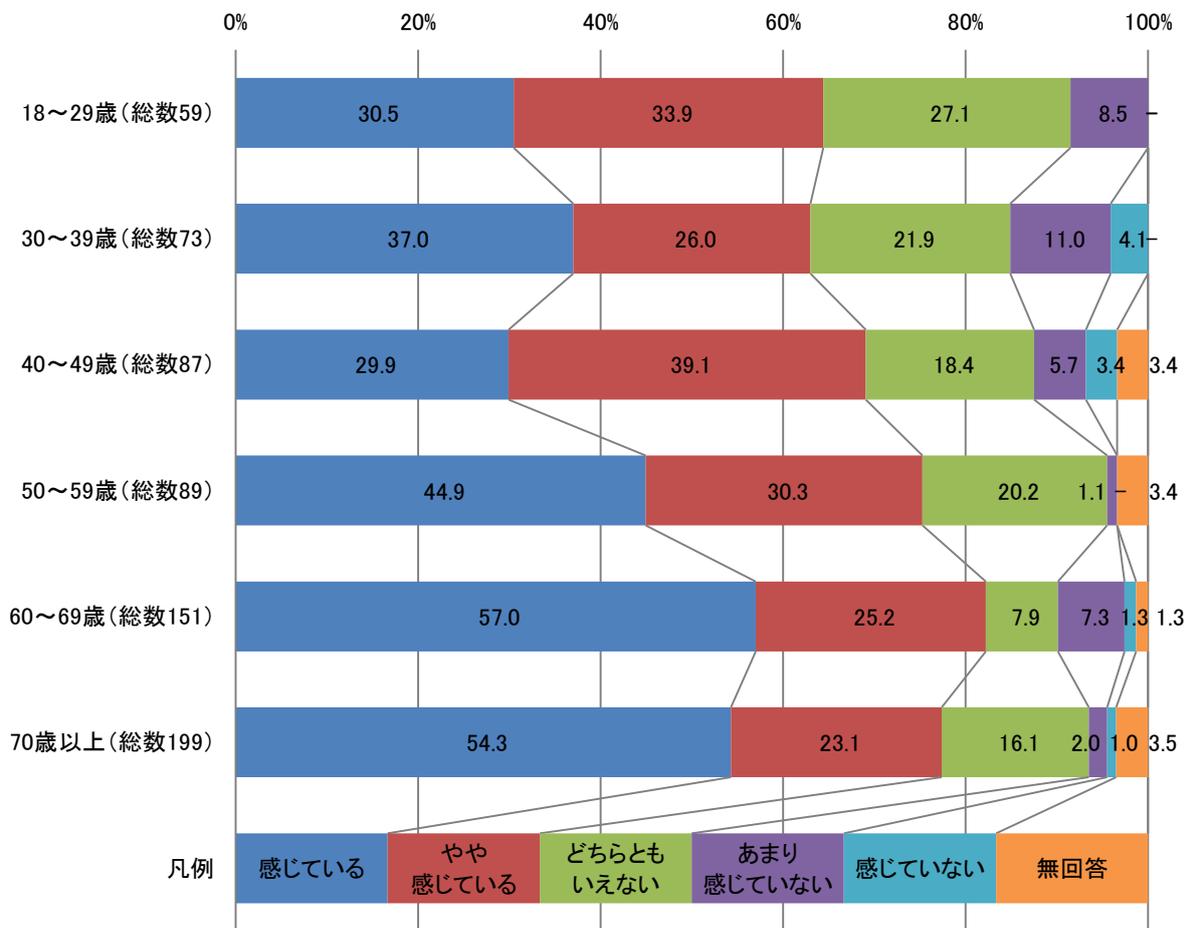


●「感じている」が46.5%で最も多く、「やや感じている」28.0%と合わせると74.5%が愛着を感じていると回答しています。【前回調査(平成28年9月)と比べると、「感じている」が+2.2ポイント、「やや感じている」が-1.7ポイント、合わせて+0.5ポイント】



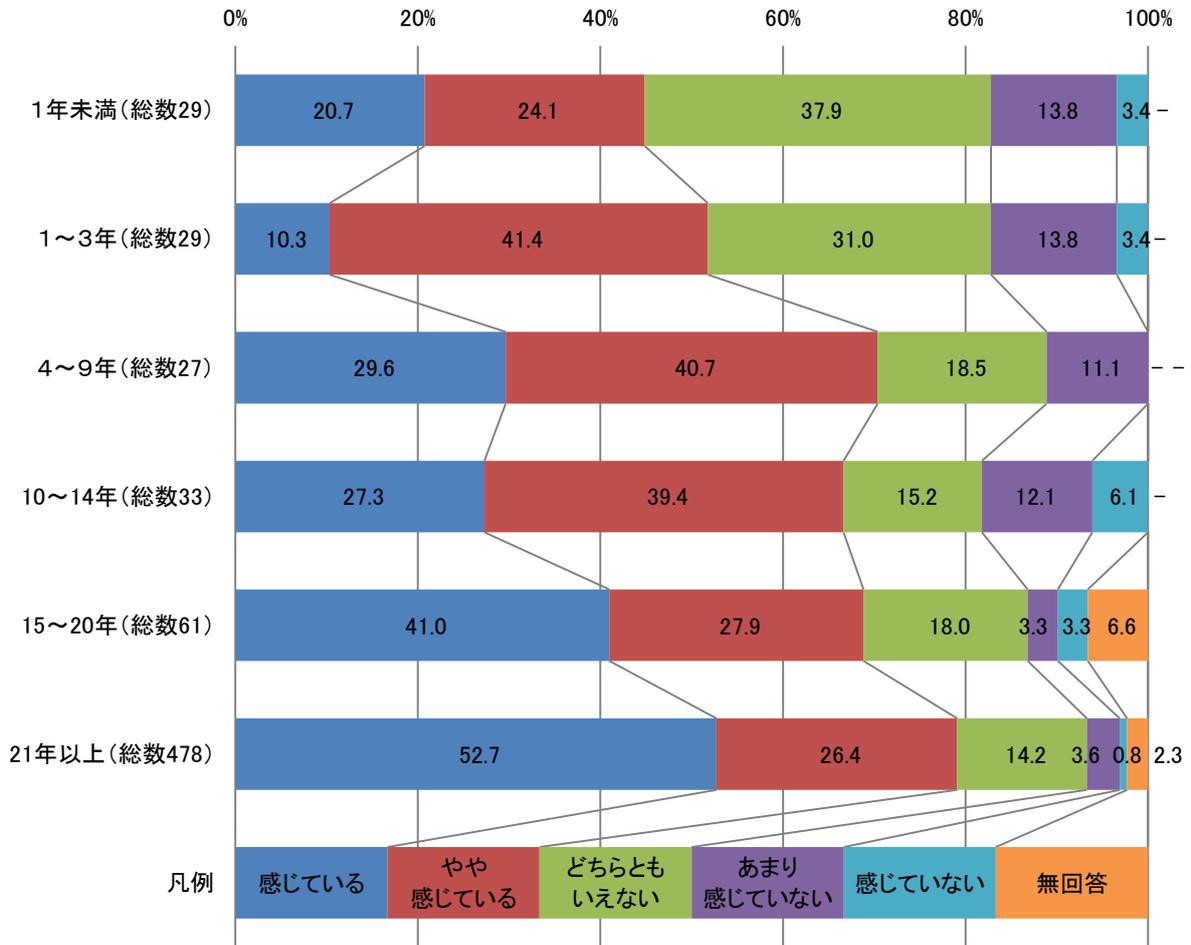
●「感じている」は男性が47.9%、女性が44.1%、「やや感じている」と合わせると男性が73.2%、女性が72.2%で、男女でやや差異がみられます。

年齢別●中野市への愛着(単位%)



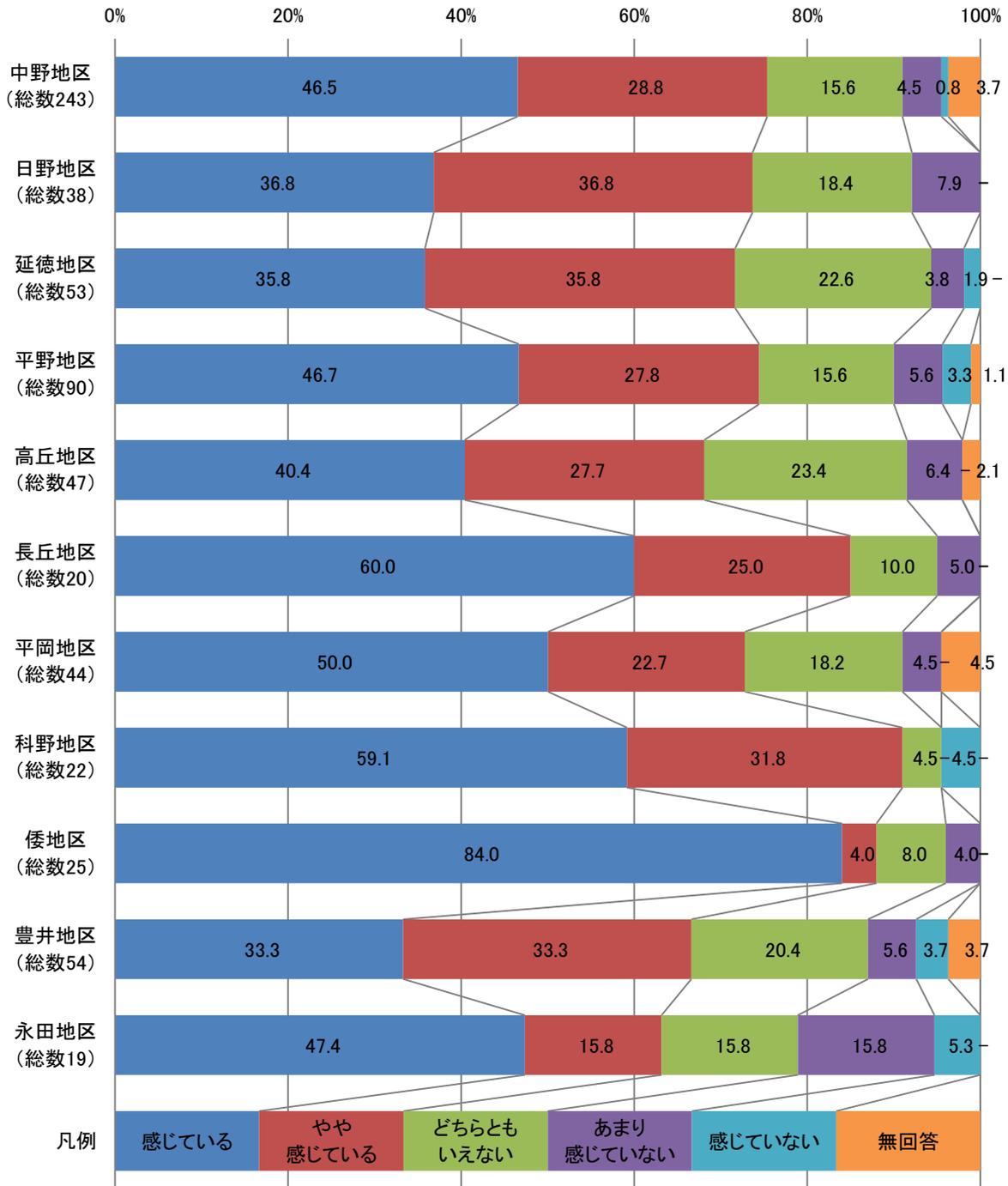
●全体的に年代が上がるほど愛着が高く、「18～29歳」が「感じている」30.5%であるのに対し、「60～69歳」では57.0%となっています。また、「感じていない」「あまり感じていない」を合わせた割合をみると、ほぼ年代が上がるほど減少し、「30～39歳」が15.1%であるのに対し「50～59歳」では1.1%、「70歳以上」では3.0%とごく少数になっています。

居住歴別●中野市への愛着(単位%)



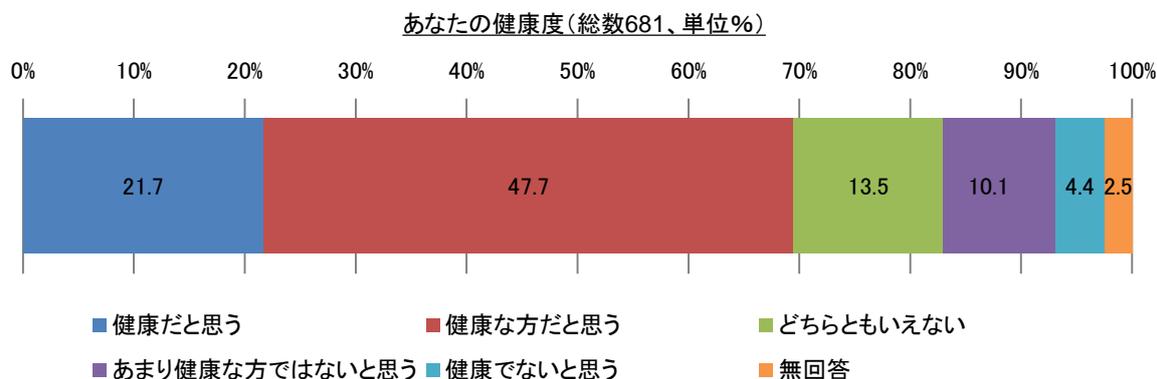
●居住歴の長さにはほぼ比例して愛着の割合は高まっています。「感じている」をみると、「1～3年」の10.3%が年数とともに増加し、「21年以上」では52.7%となっています。

居住地区別●中野市への愛着(単位%)

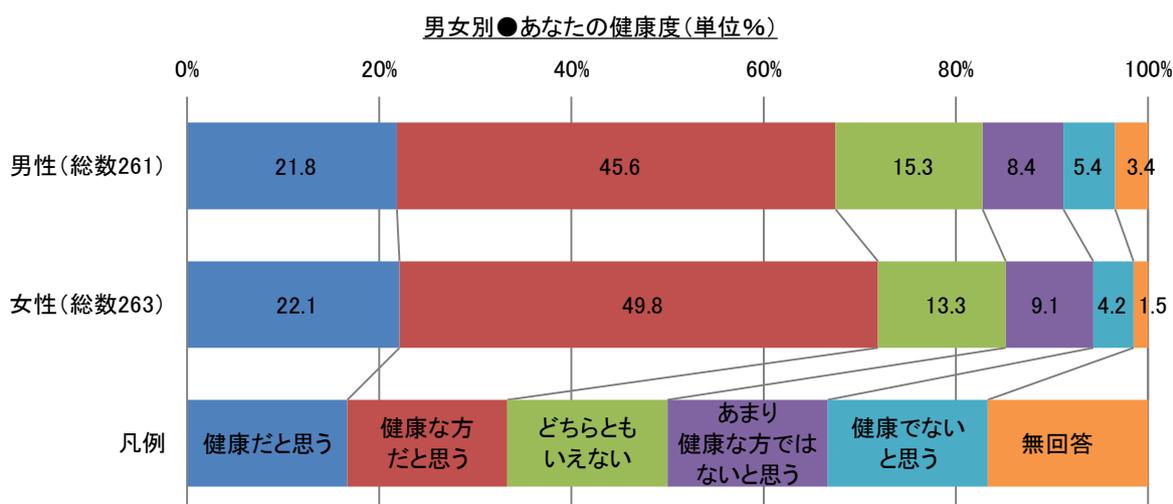


●「感じている」「やや感じている」を合わせてみると、「科野地区」が最も高く90.9%、次いで「倭地区」88.0%、「長丘地区」85.0%、逆に「あまり感じている」「感じている」を合わせると、「永田地区」21.1%、「豊井地区」9.3%などとなっています。

問2 あなたは今、健康だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、○をしてください。

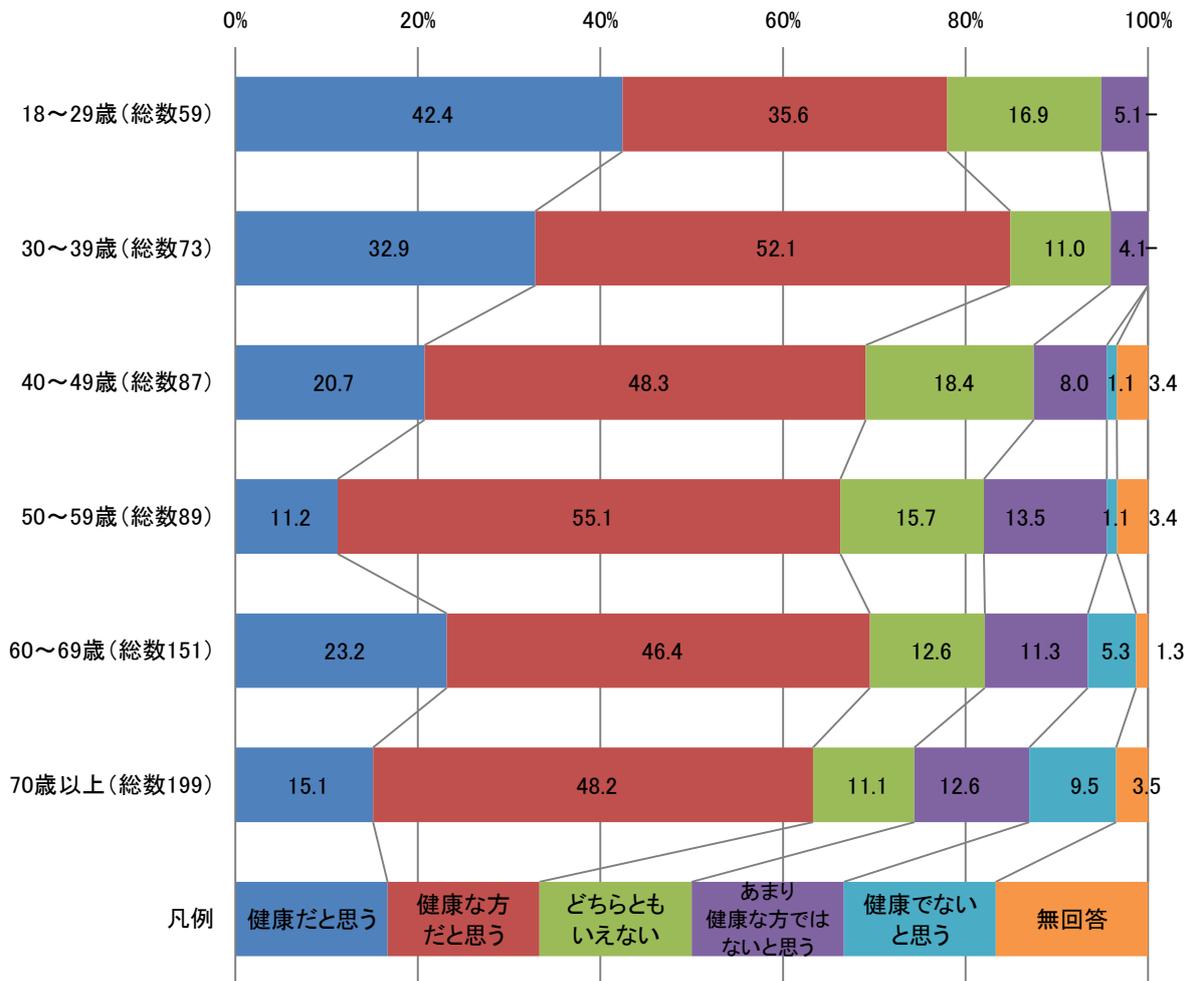


●「健康な方だと思う」が47.7%で最も多く、次いで「健康だと思う」が21.7%、合わせて69.4%が健康と答えています。【前回調査では「健康だと思う」27.1%、「健康な方だと思う」40.8%、合わせて67.9%で、前回と比べると+1.5ポイント】



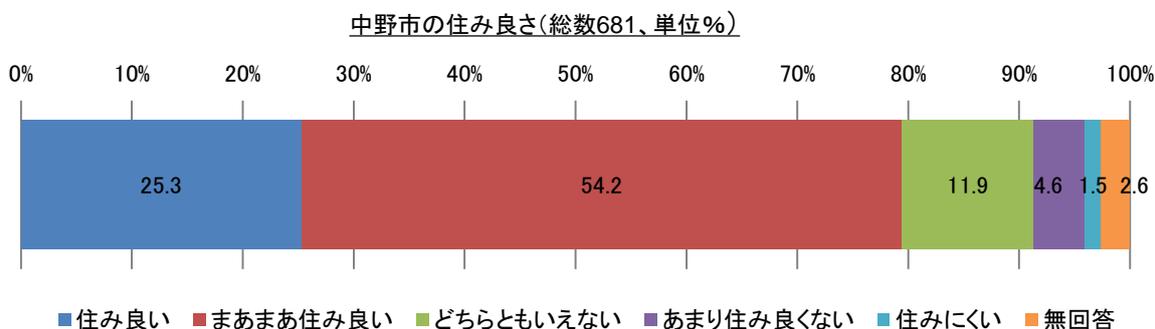
●「健康だと思う」「健康な方だと思う」を合わせると、男性が67.4%、女性が71.9%で、女性が男性をやや上回っています。

年齢別●あなたの健康度(単位%)

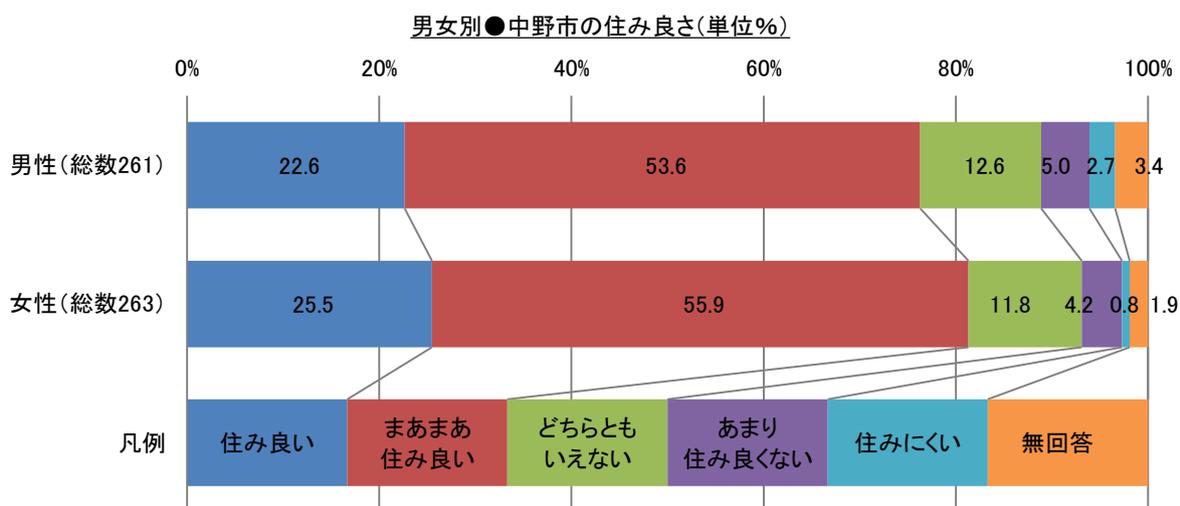


●「健康だと思う」「健康な方だと思う」を合わせると、年代に比例して割合はほぼ低下し、「18～29歳」で78.0%であったのが、「70歳以上」では63.3%となっています。

問3 あなたにとって中野市は、どの程度住み良いですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、○をしてください。

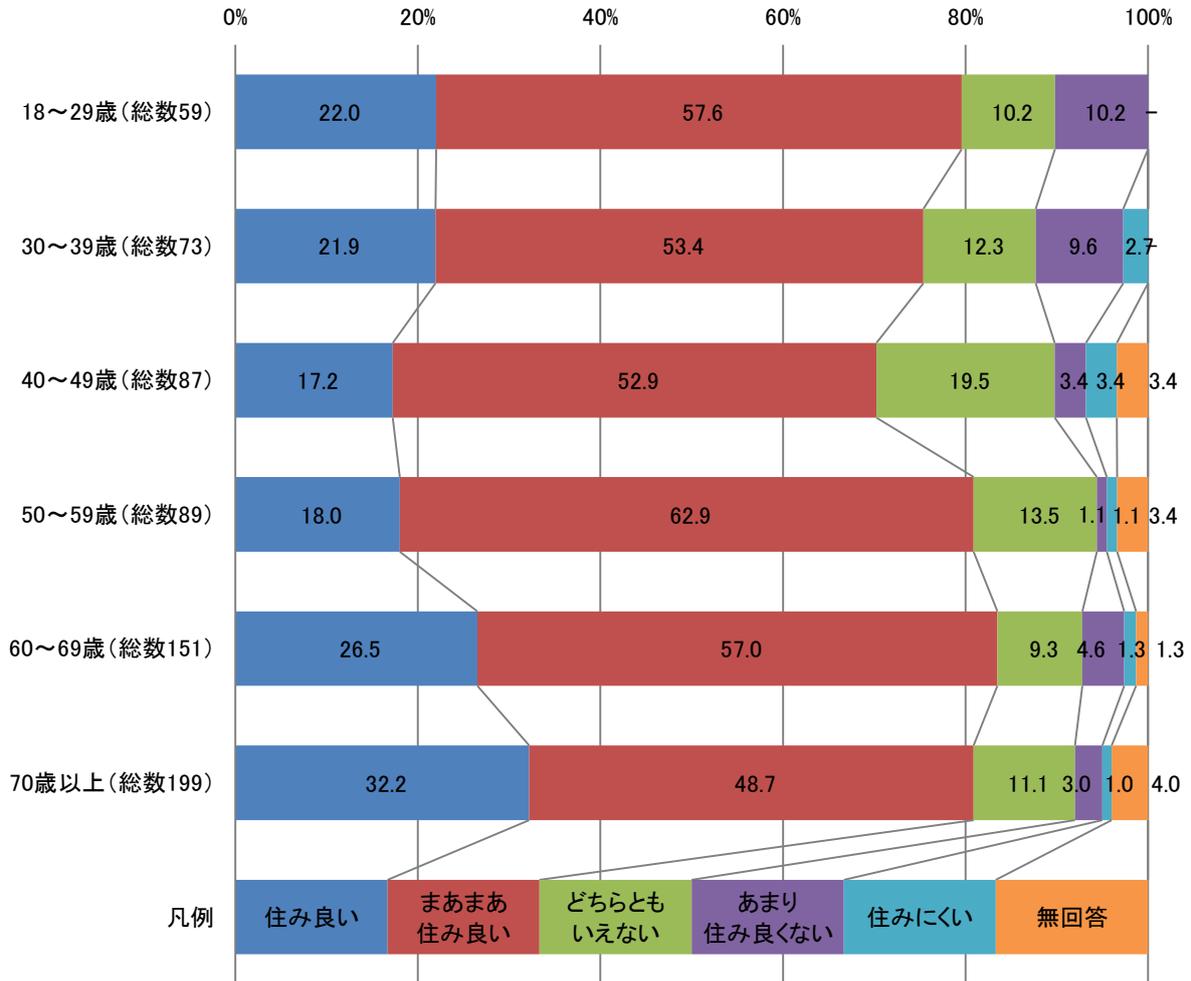


●「住み良い」25.3%、「まあまあ住み良い」54.2%で、合わせて79.5%が住み良いと回答しています。【前回調査と比べると、「住み良い」が-2.3ポイント、「まあまあ住み良い」が+4.1ポイント、合わせて+1.8ポイント】



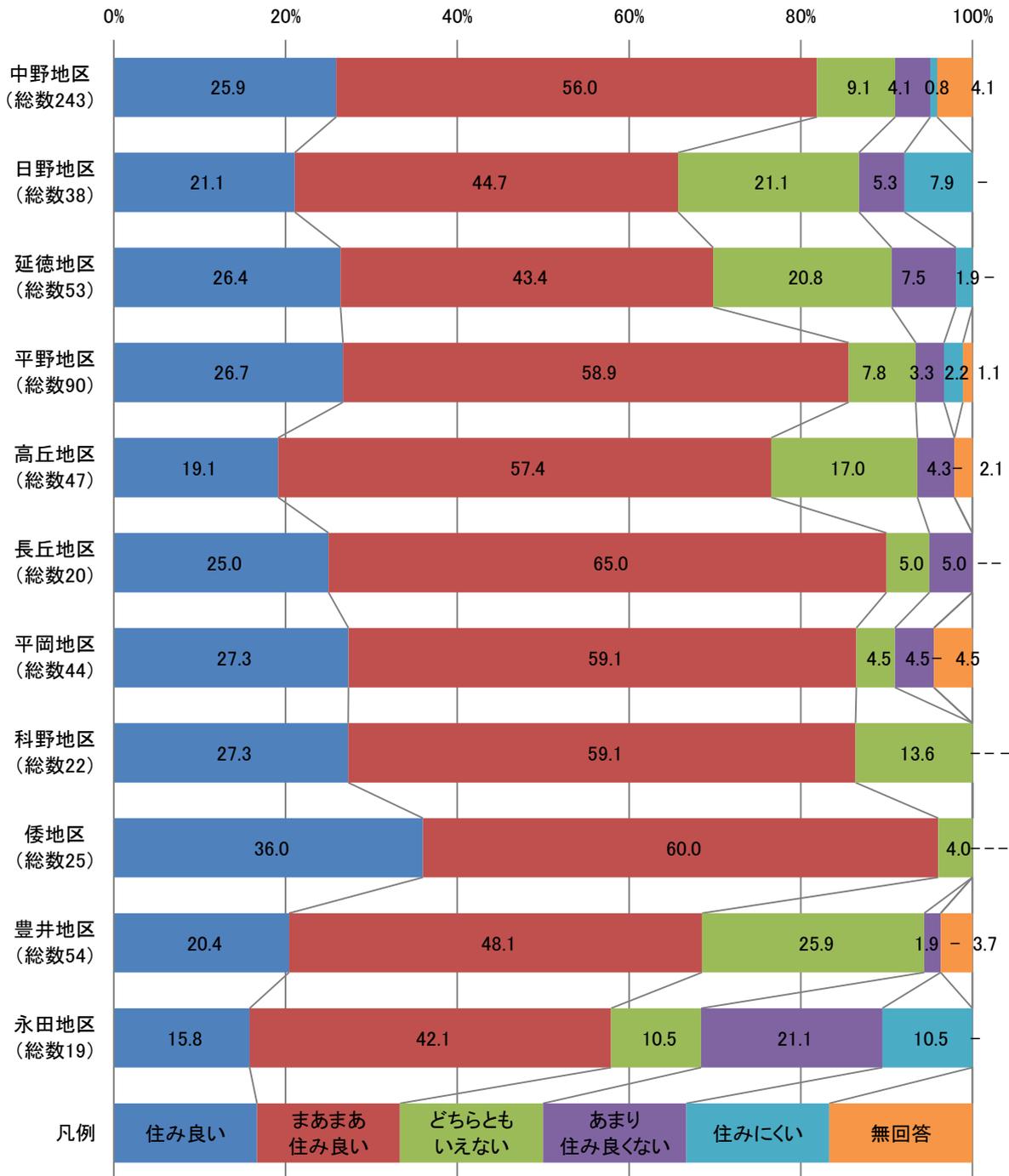
●「住み良い」「まあまあ住み良い」合わせると、男性76.2%、女性81.4%で、女性の方が5.2ポイント上回っています。男女でやや開きがみられます

年齢別●中野市の住み良さ(単位%)



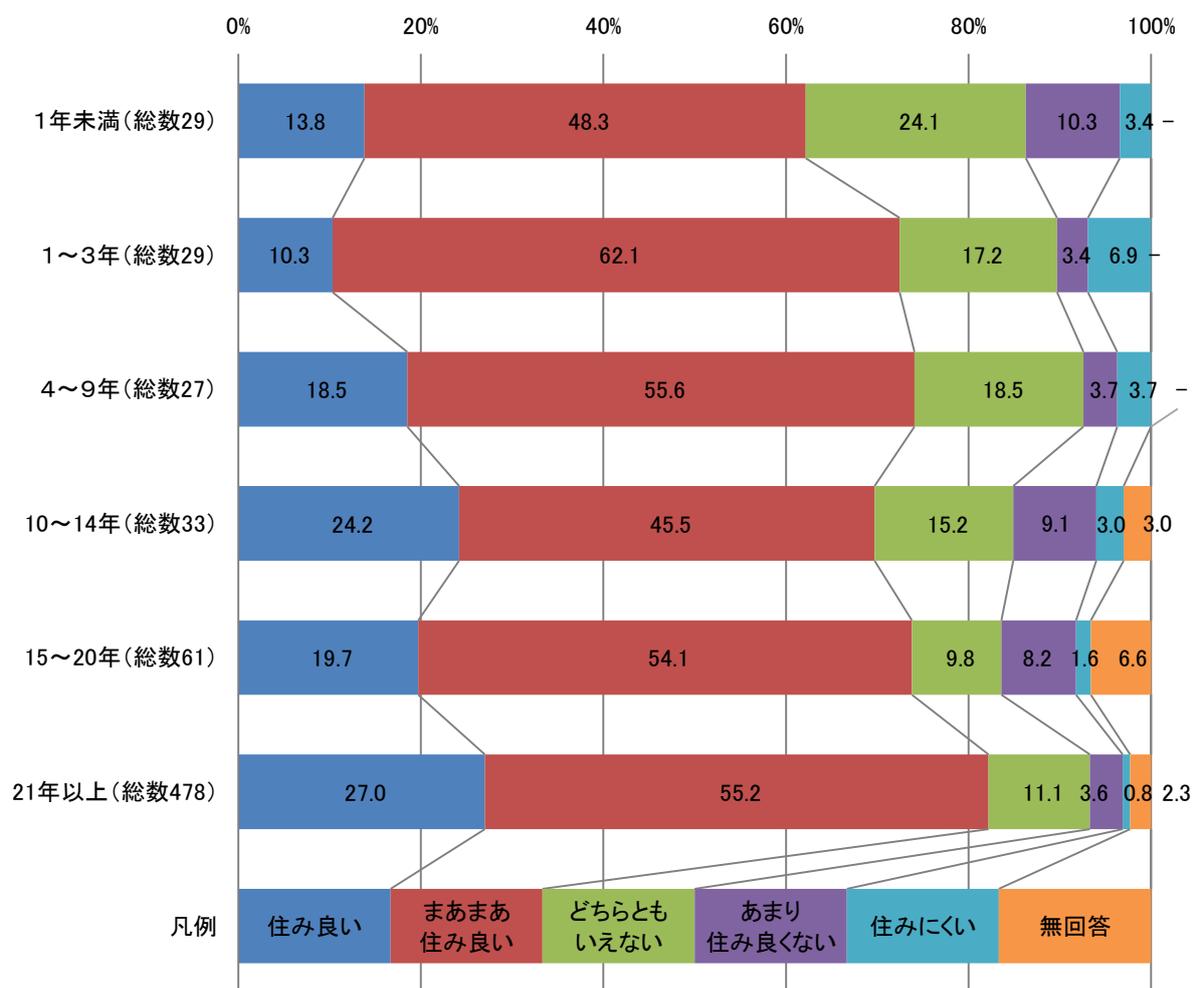
●「住み良い」「まあまあ住み良い」合わせると、「60～69歳」が83.5%で最も高く、これに「70歳以上」80.9%、「18～29歳」79.6%が続きます。また、「40～49歳」が最も低く、70.1%となっています。年代の上下に伴う傾向ははっきりしないといえます。

居住地区別●中野市の住み良さ(単位%)



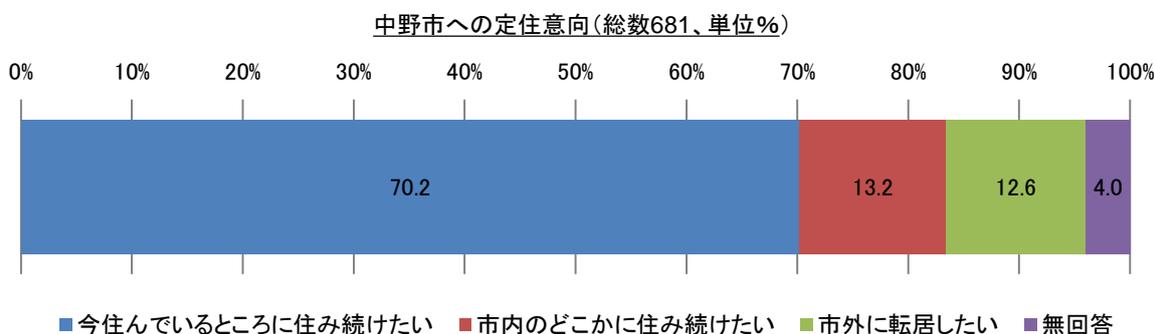
●「住み良い」「まあまあ住み良い」合わせると、「倭地区」が96.0%で最も高く、次いで「長丘地区」90.0%、「平岡地区」86.4%、「科野地区」86.4%、「平野地区」85.6%などとなっています。逆に低いのは、「永田地区」57.9%、「日野地区」65.8%などです。

居住歴別●中野市の住み良さ(単位%)

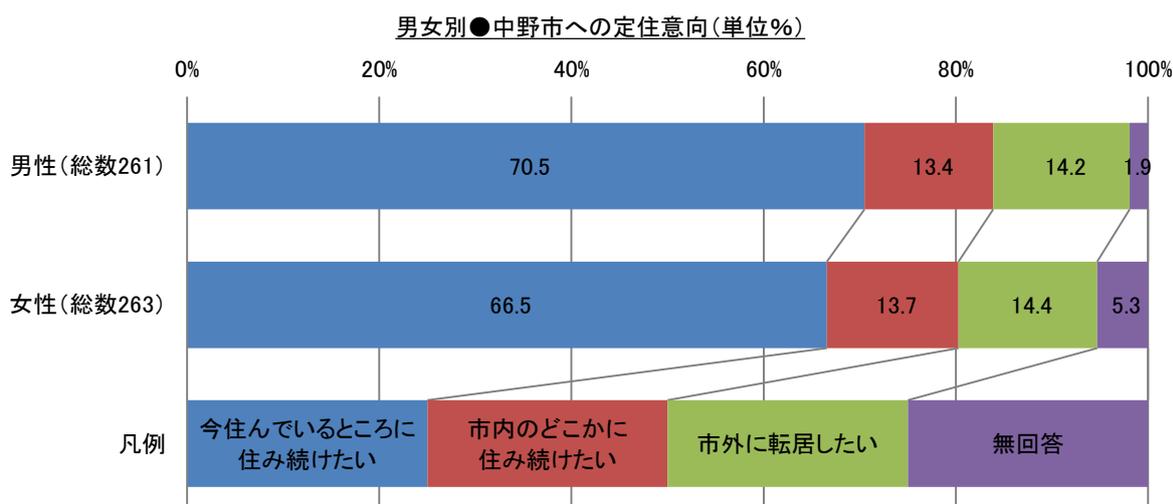


●居住歴が長いほど「住み良い」「まあまあ住み良い」合わせた割合は高くなっています。「1年未満」が62.1%であるのに対し、「10～14年」でいったん下がりますが、「15～20年」は73.8%、「21年以上」は82.2%となっています。また、「住み良い」に限ってみると、「21年以上」が27.0%で最も高く、これに「10～14年」の24.2%が次いでいます。

問4 あなたは、中野市に住み続けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、○をしてください。

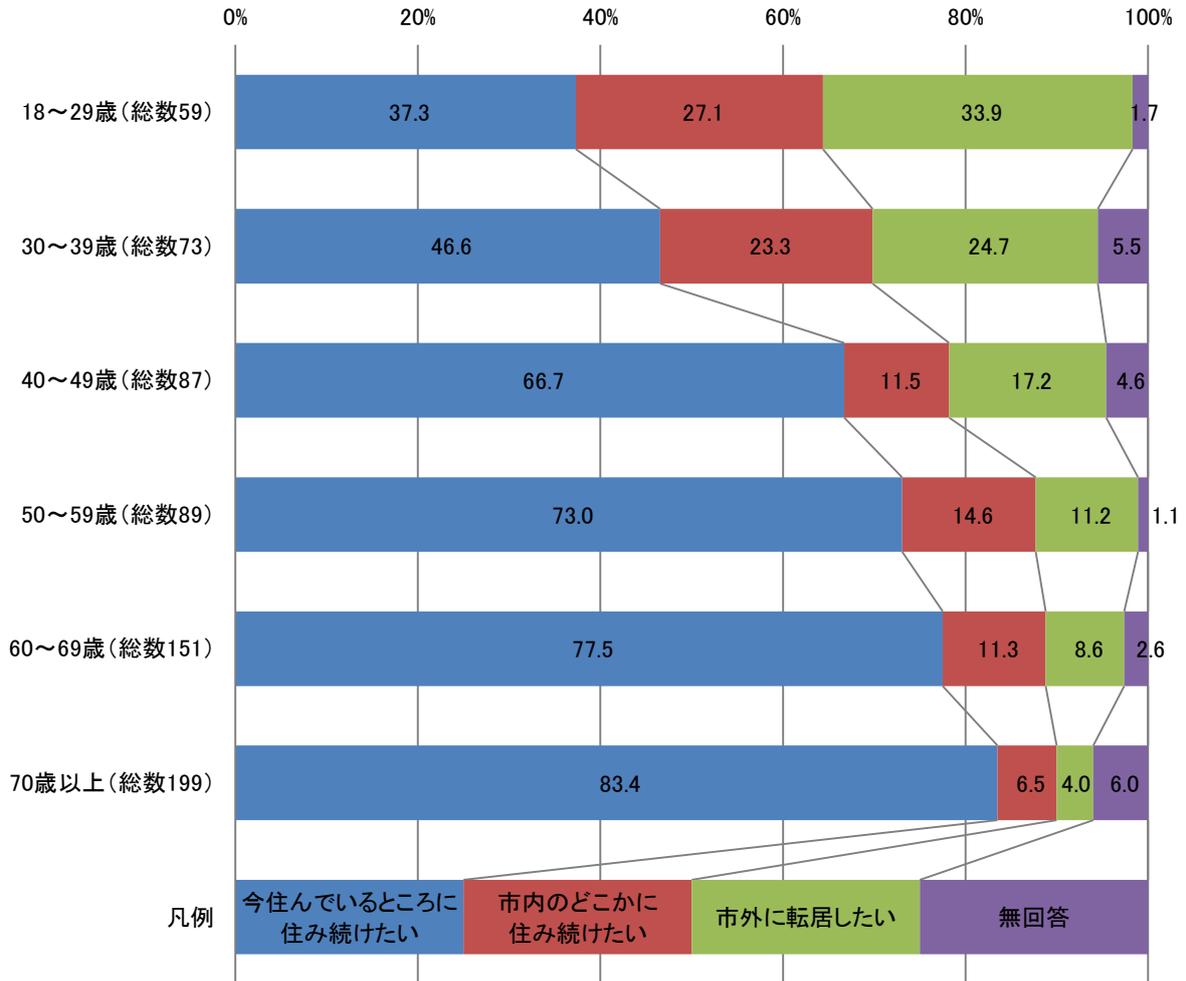


●「今住んでいるところに住み続けたい」が70.2%、「市内のどこかに住み続けたい」が13.2%、「市外に転居したい」が12.6%となっています。【前回調査と比べると、「今住んでいるところに住み続けたい」が+0.1ポイント、「市内のどこかに住み続けたい」が-0.7ポイント、「市外に転居したい」は前回同様】



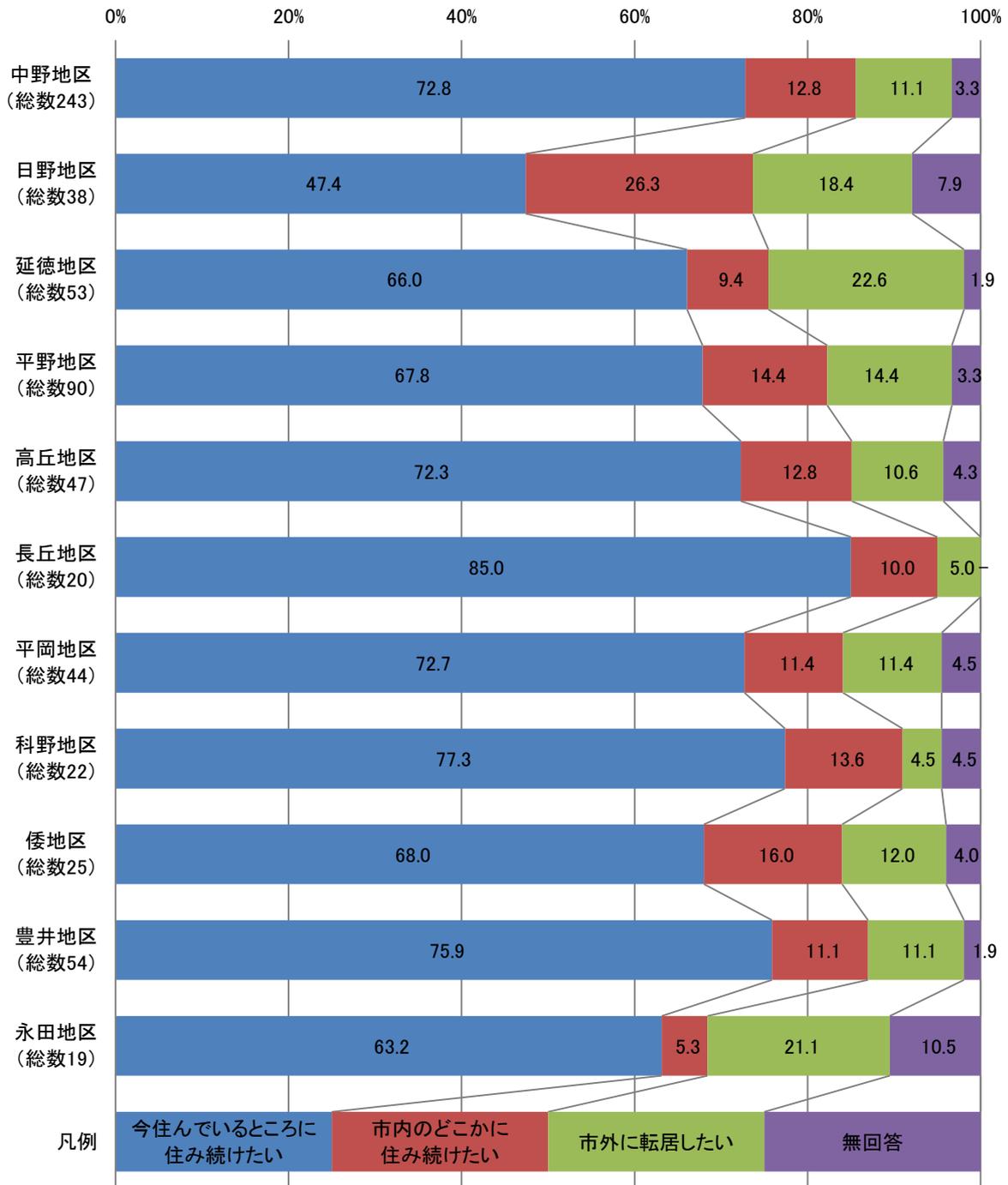
●「今住んでいるところに住み続けたい」は男性が70.5%、女性が66.5%、「市内のどこかに住み続けたい」は男性が13.4%、女性が13.7%で、定住意向は全体として女性の方がやや低くなっていますが、「市外に転居したい」では男性が14.2%、女性は14.4%で差はほとんどありません。

年齢別●中野市への定住意向(単位%)



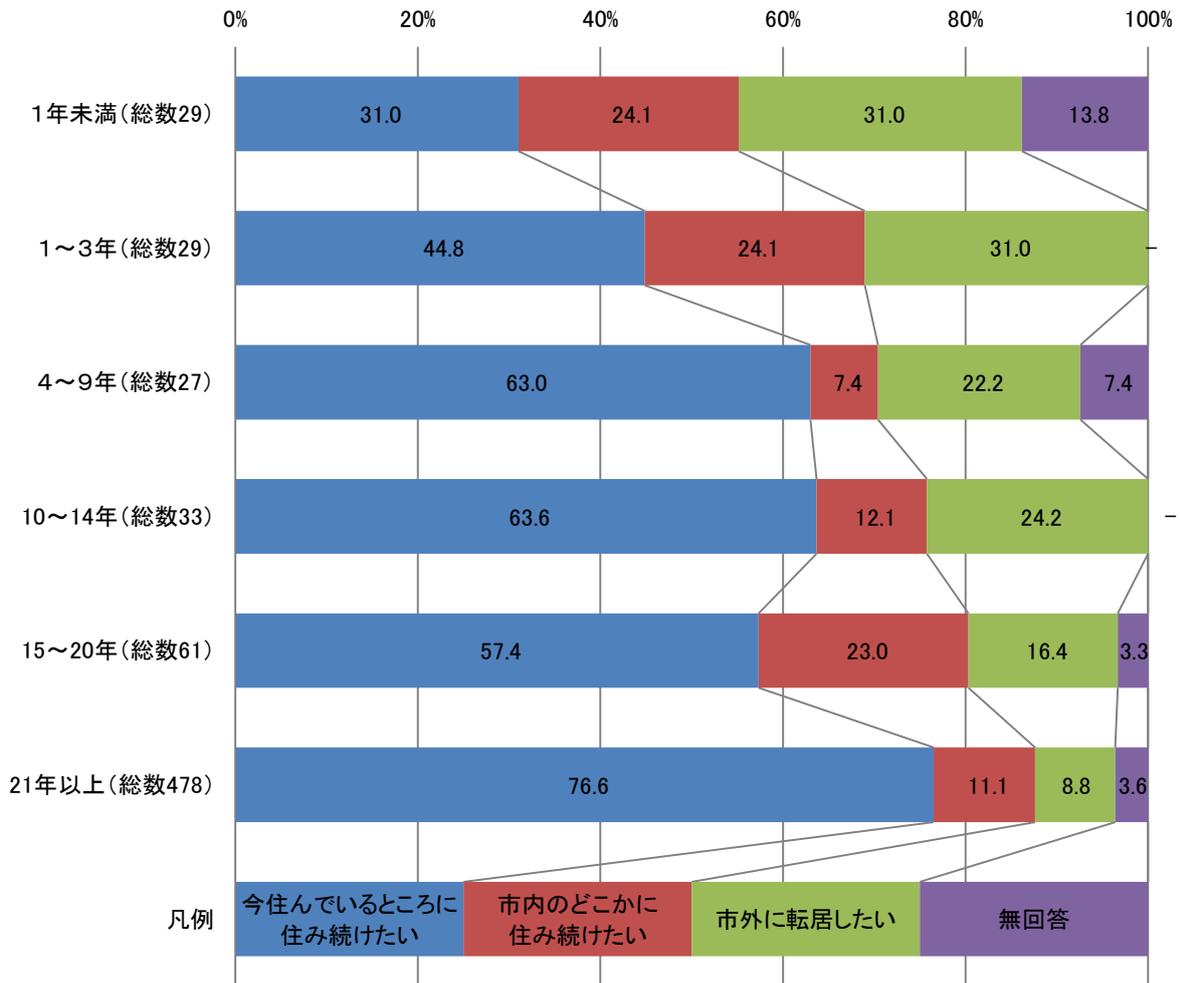
●中野市への定住意向は全体として年代とともに単調に高まり、「今住んでいるところに住み続けたい」をみると、「18～29歳」が37.3%であるのに対し「70歳以上」では83.4%となっています。ただし、「市内のどこかに住み続けたい」は「18～29歳」が27.1%で最も高く、次いで「30～39歳」23.3%となっています。また、「市外に転居したい」は「18～29歳」で33.9%、「30～39歳」で24.7%と高くなっています。

居住地区別●中野市への定住意向(単位%)



●「今住んでいるところに住み続けたい」「市内のどこかに住み続けたい」を合わせてみると、定住意向が最も高いのは「長丘地区」が95.0%、次いで「科野地区」が90.9%、「豊井地区」が87.0%となっています。これに対し、「市外に転居したい」が高いのは、「延徳地区」22.6%、「永田地区」21.1%、「日野地区」18.4%などです。

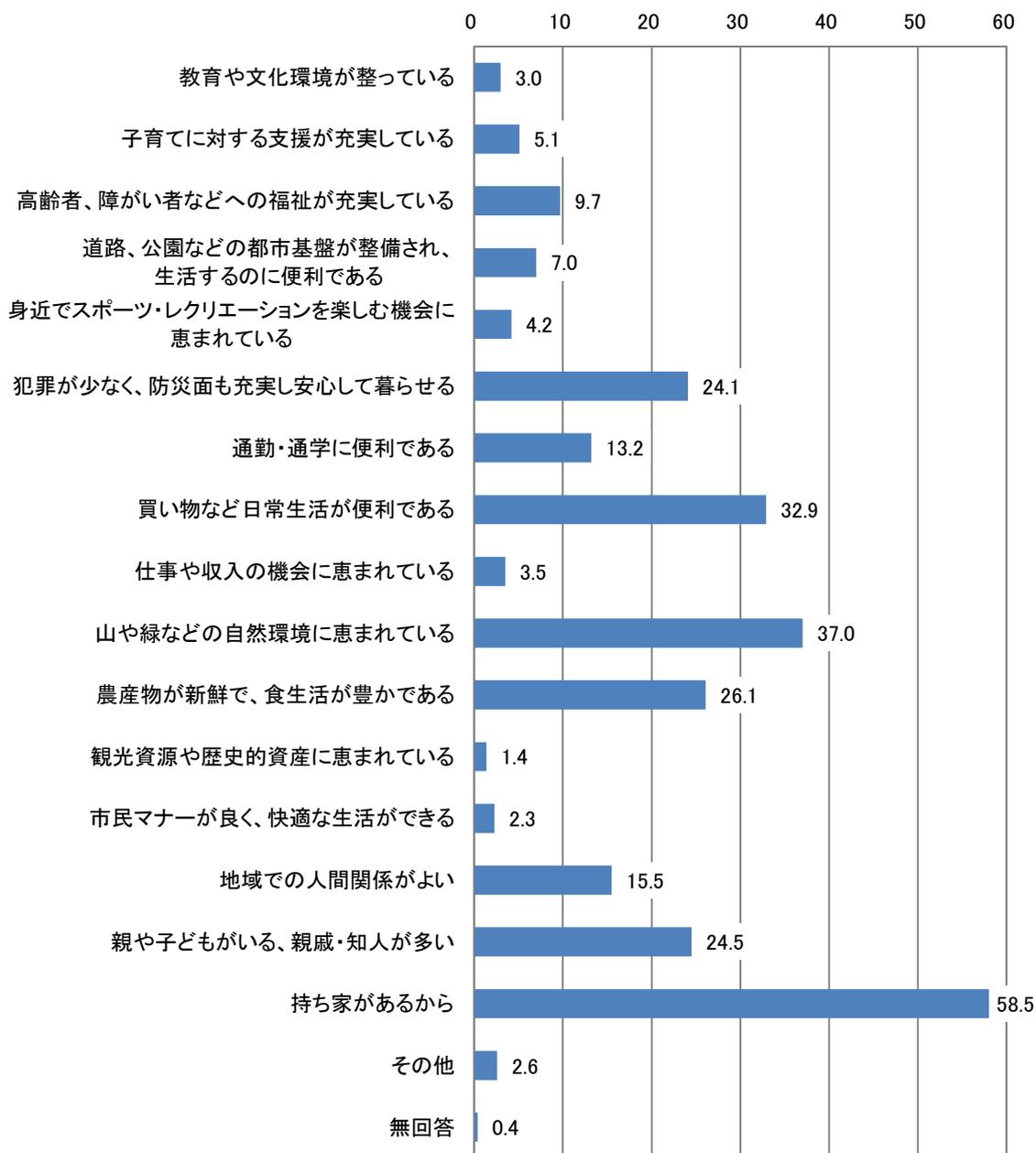
居住歴別●中野市への定住意向(単位%)



●全体として居住歴が長いほど定住意向が高くなっています。「今住んでいるところに住み続けたい」は「1年未満」が31.0%であるのに対し、「21年以上」では76.6%となっています。「今住んでいるところに住み続けたい」「市内のどこかに住み続けたい」を合わせてみると、「1年未満」が55.1%、「21年以上」では87.7%となっています。「市外に転居したい」は、「1年未満」と「1～3年」が31.0%と高くなっています。

問4-1 問4で、「今住んでいるところに住み続けたい」または「市内のどこかに住み続けたい」を選んだ方に伺います。住み続けたい主な理由は何ですか。次の中から3つまで選び、○をしてください。

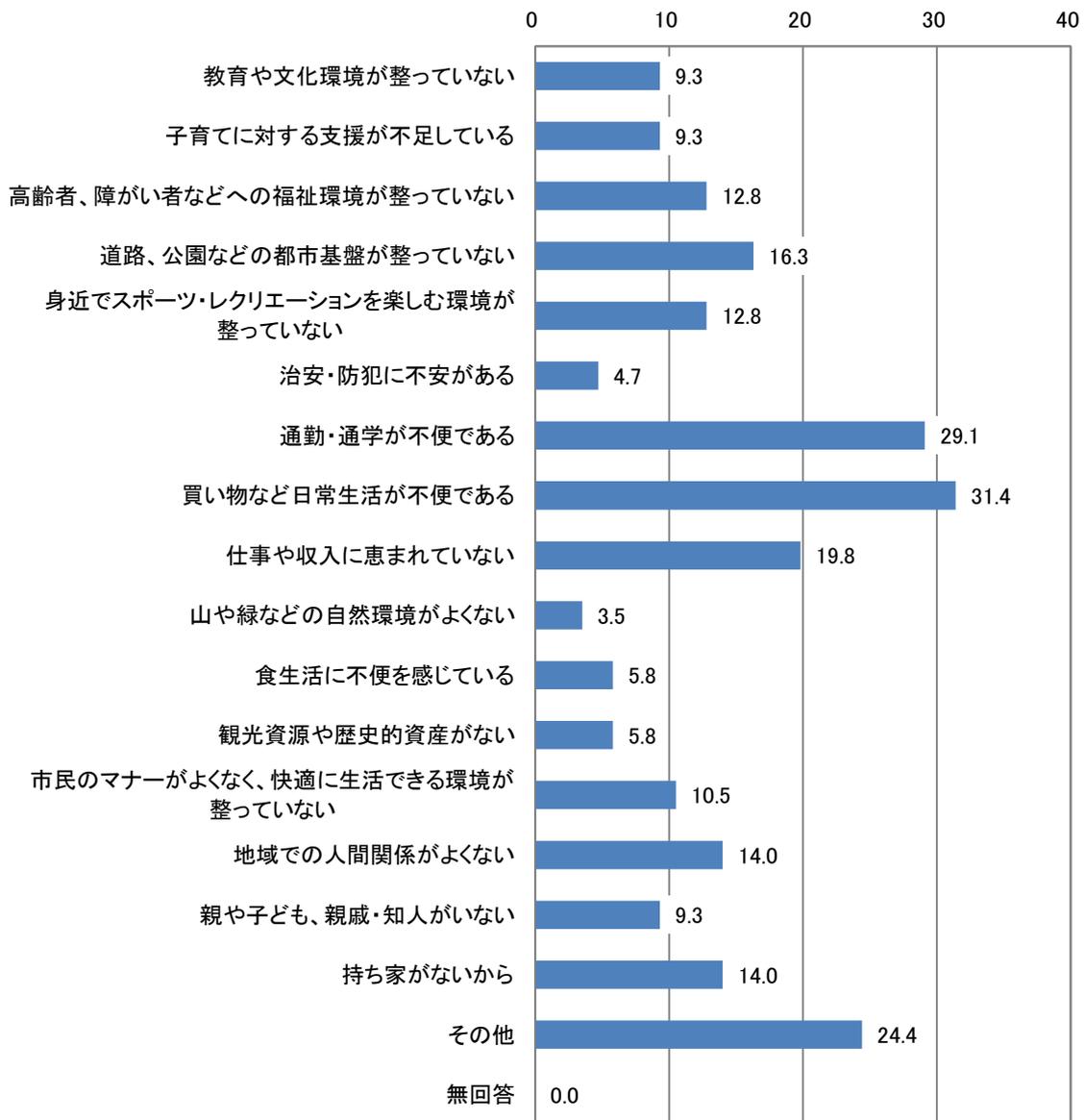
中野市に住み続けたい主な理由(総数568、単位%、3つまで複数回答)



●中野市に定住したい理由は、「持ち家があるから」が最も多く58.5%、次いで「山や緑などの自然環境に恵まれている」が37.0%、「買い物など日常生活が便利である」が32.9%、「農産物が新鮮で、食生活が豊かである」が26.1%などとなっています。

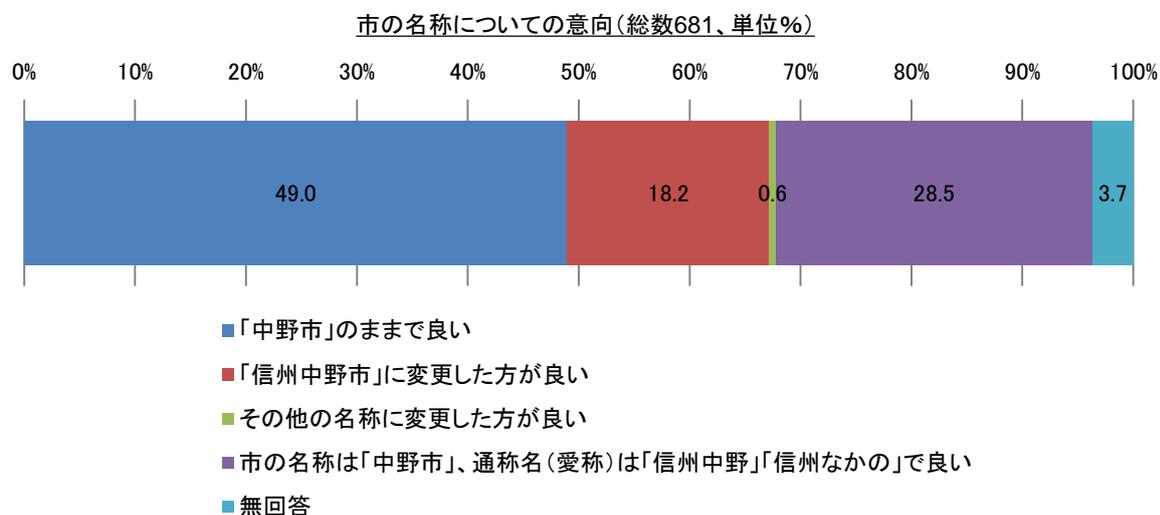
問4-2 問4で、「市外に移りたい」を選んだ方に伺います。市外に移りたいという主な理由は何ですか。次の中から3つまで選び、○をしてください。

市外に移りたい主な理由(総数86、単位%、3つまで複数回答)

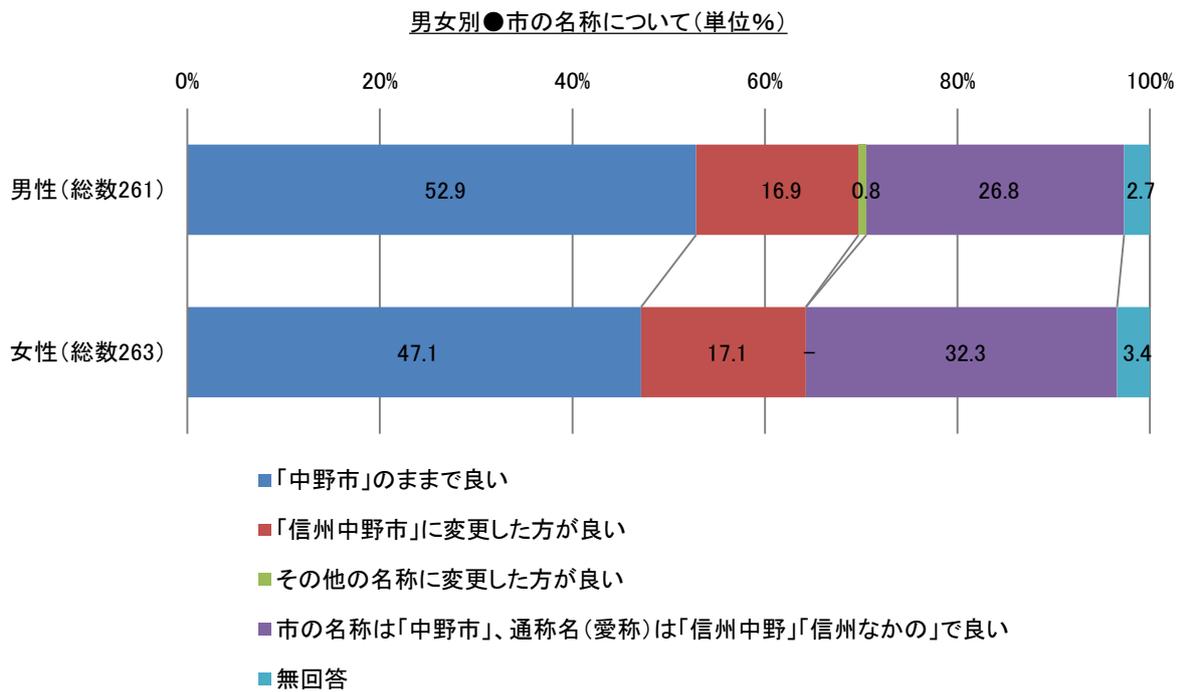


●市外に移りたい理由は「買い物など日常生活が不便である」が31.4%で最も多く、次いで「通勤・通学が不便である」が29.1%、「仕事や収入に恵まれていない」が19.8%、などとなっています。

問5 あなたは、市の名称についてどのように思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、○をしてください。

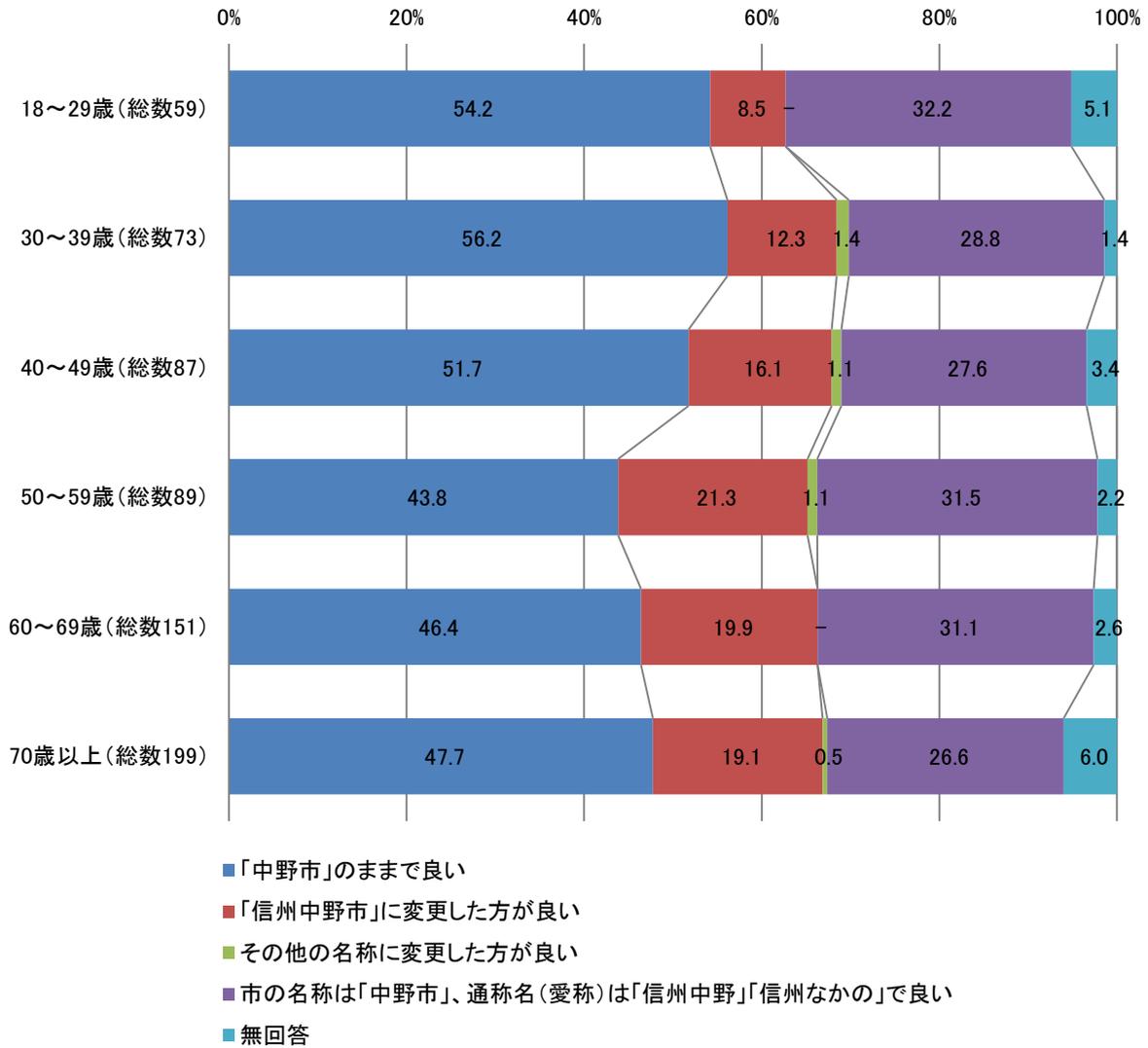


●「中野市」のままで良いが49.0%で最も多く、次いで「市の名称は「中野市」、通称名(愛称)は「信州中野」「信州なかの」で良い」が28.5%、「信州中野市」に変更した方が良い」が18.2%などとなっています。現状でよいが約半数です。

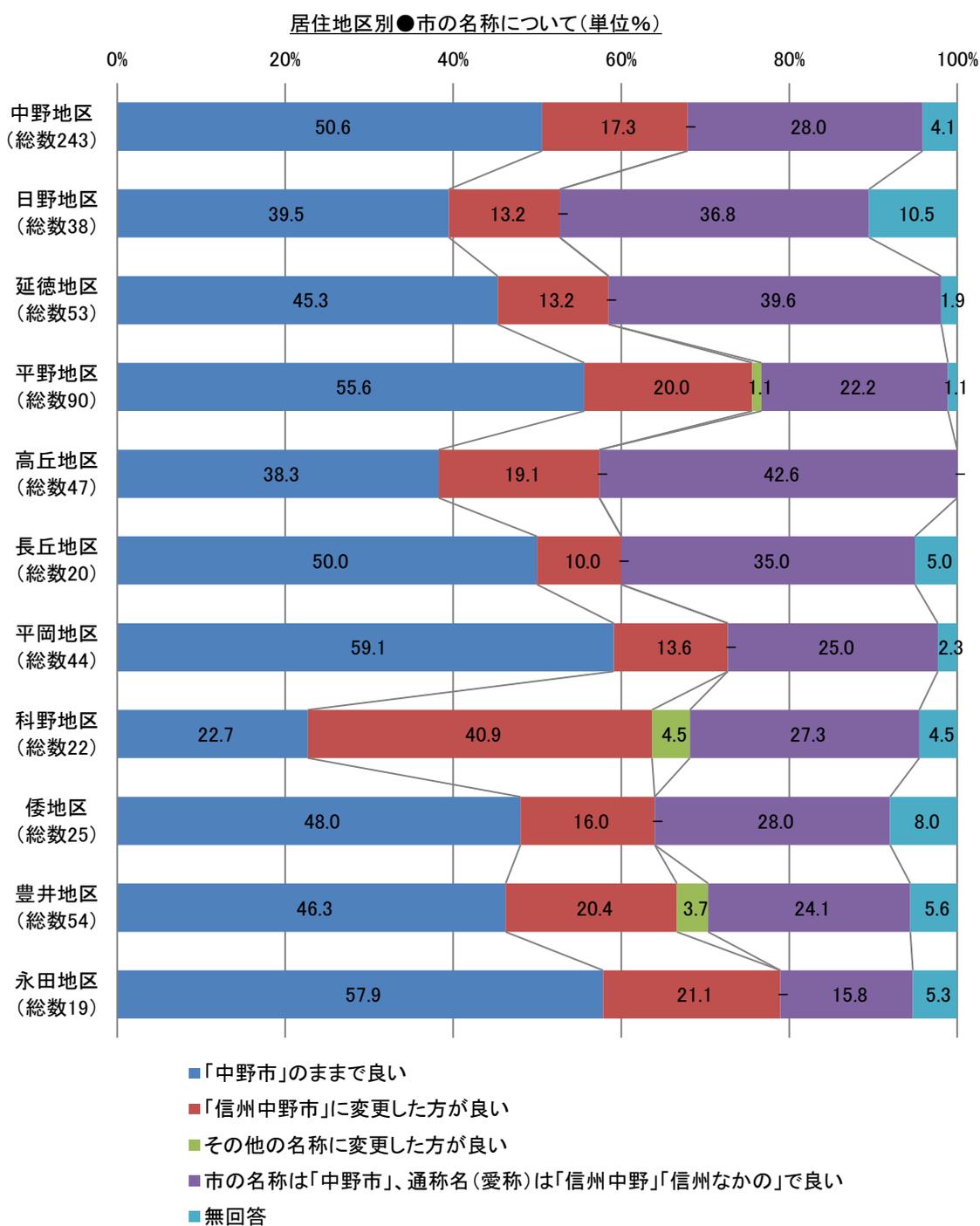


●「「中野市」のままで良い」は男性52.9%、女性47.1%で、男性が女性を6ポイント近く上回り、「市の名称は「中野市」、通称名(愛称)は「信州中野」「信州なかの」で良い」は男性26.8%、女性32.3%で、女性が男性を5.5ポイント上回っています。

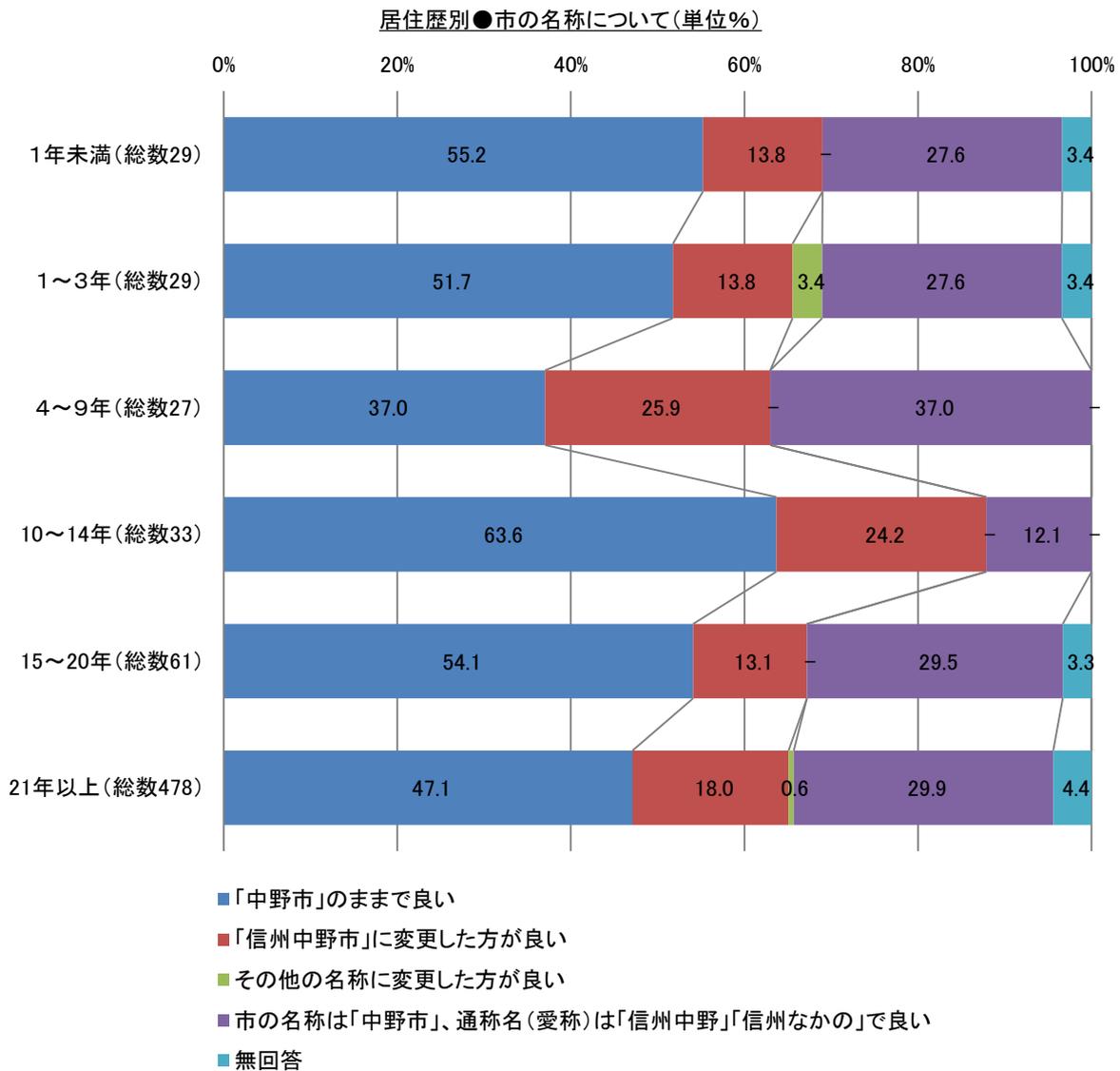
年齢別●市の名称について(単位%)



●年齢による意見の傾向や差異ははっきりしません。「中野市」のままで良いは「30～39歳」が56.2%で最も多く、「信州中野市」に変更した方が良いは「50～59歳」が21.3%で最も多く、また「市の名称は「中野市」、通称名(愛称)は「信州中野」「信州なかの」で良い」は「18～29歳」が32.2%で最も多くなっています。



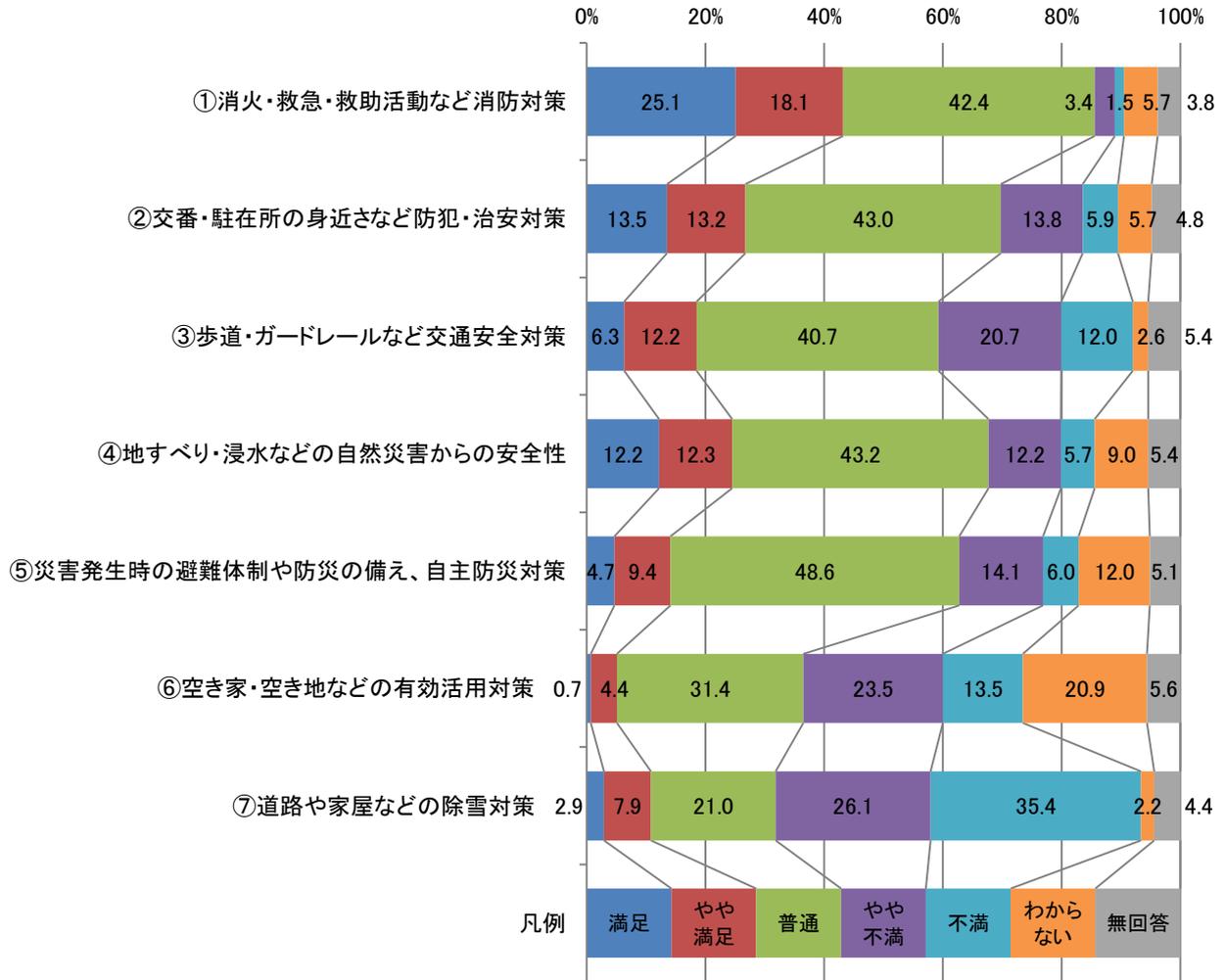
●地区により、意見に大きな差異がみられます。「中野市」のままで良いは「平岡地区」の59.1%に対し「科野地区」では22.7%、「信州中野市」に変更した方が良いは「科野地区」の40.9%に対し「長丘地区」では10.0%、「市の名称は「中野市」、通称名(愛称)は「信州中野」「信州なかの」で良い」は「高丘地区」の42.6%に対し「永田地区」の15.8%など、意見は非常に多様です。



●居住年数による意見の傾向ははっきりとはみられません。「中野市」のままで良いは「10～14年」で63.6%、「1年未満」で55.2%と高く、「信州中野市」に変更した方が良いは「4～9年」で25.9%、「10～14年」で24.2%、また、「市の名称は「中野市」、通称名(愛称)は「信州中野」「信州なかの」で良い」は「4～9年」で37.0%、「21年以上」で29.9%などとなっています。

問6 身の回り(あなたが住んでいる小学校区くらいの範囲で)の生活の安全性を考えたとき、あなたはどの程度満足していますか。次の各項目について、あてはまるものを1つずつ選び、○をしてください。(総数1,025)

身の回りの生活の安全性についての満足度(総数681)

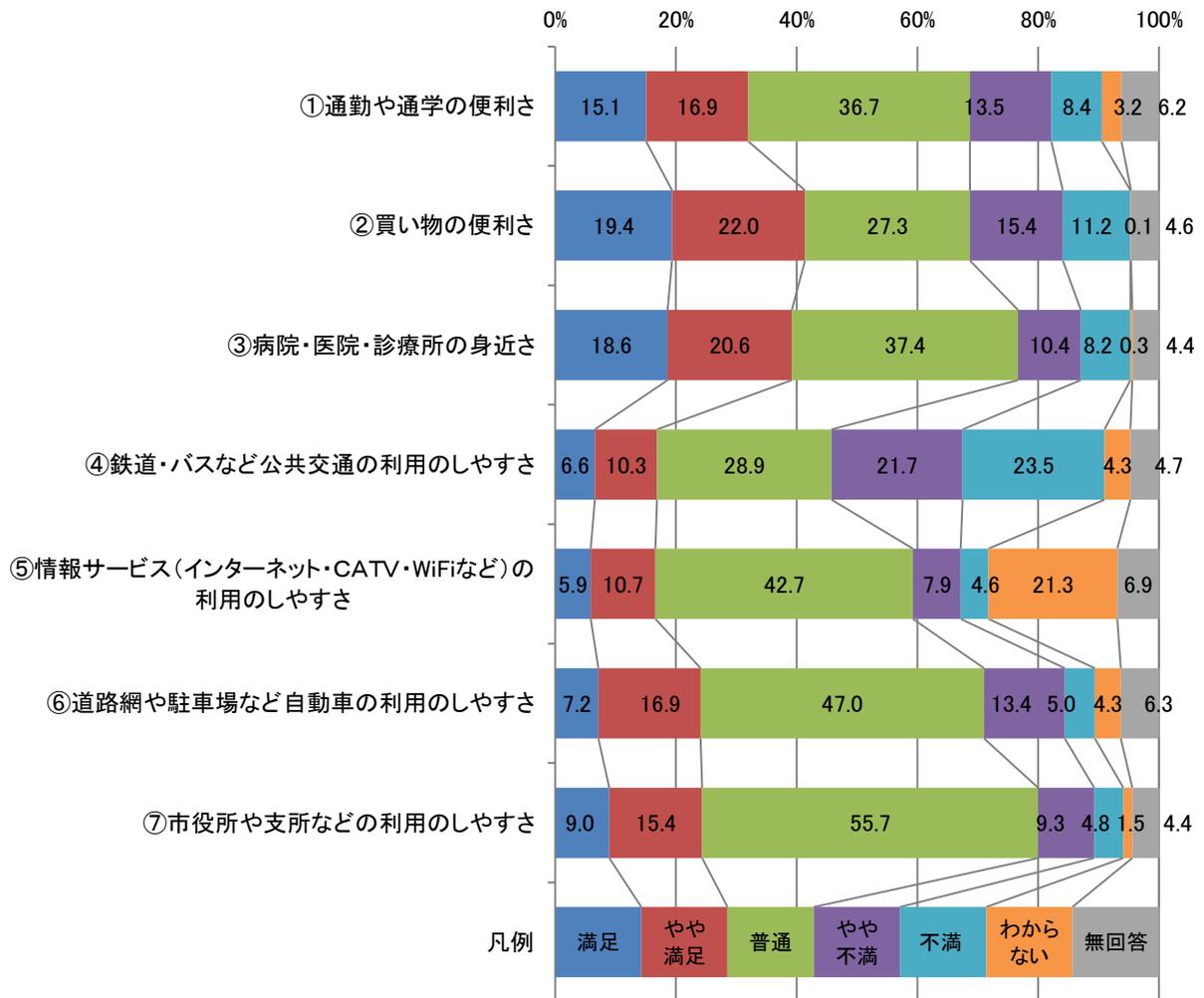


●「満足」「やや満足」を合わせると、「消火・救急・救助活動など消防対策」が43.2%と最も高く、次いで、「交番・駐在所の身近さなど防犯・治安対策」が26.7%、「地すべり・浸水などの自然災害からの安全性」が24.5%などとなっています。【前回調査と比べると、上位3項の順位は同じで、「消防対策」が-2.4ポイント、「防犯・治安対策」が-0.6ポイント、「自然災害対策」が+0.4ポイント】

「やや不満」「不満」を合わせると、「道路や家屋などの除雪対策」が61.5%、「空き家・空き地などの有効活用対策」が37.0%、「歩道・ガードレールなど交通安全対策」が32.7%などとなっています。とくに、除雪対策の不満度が高くなっています。【前回調査と上位3項目は同じで、「除雪対策」が+16.8ポイント、「空き家・空き地対策」が+0.9ポイント、「交通安全対策」が+4.5ポイント】

問7 身の回り(あなたが住んでいる小学校区くらいの範囲で)の生活の利便性(便利さ)を考えたとき、あなたはどの程度満足していますか。次の各項目について、あてはまるものを1つずつ選び、○をしてください。(総数1,025)

身の回りの生活の利便性についての満足度(総数681)

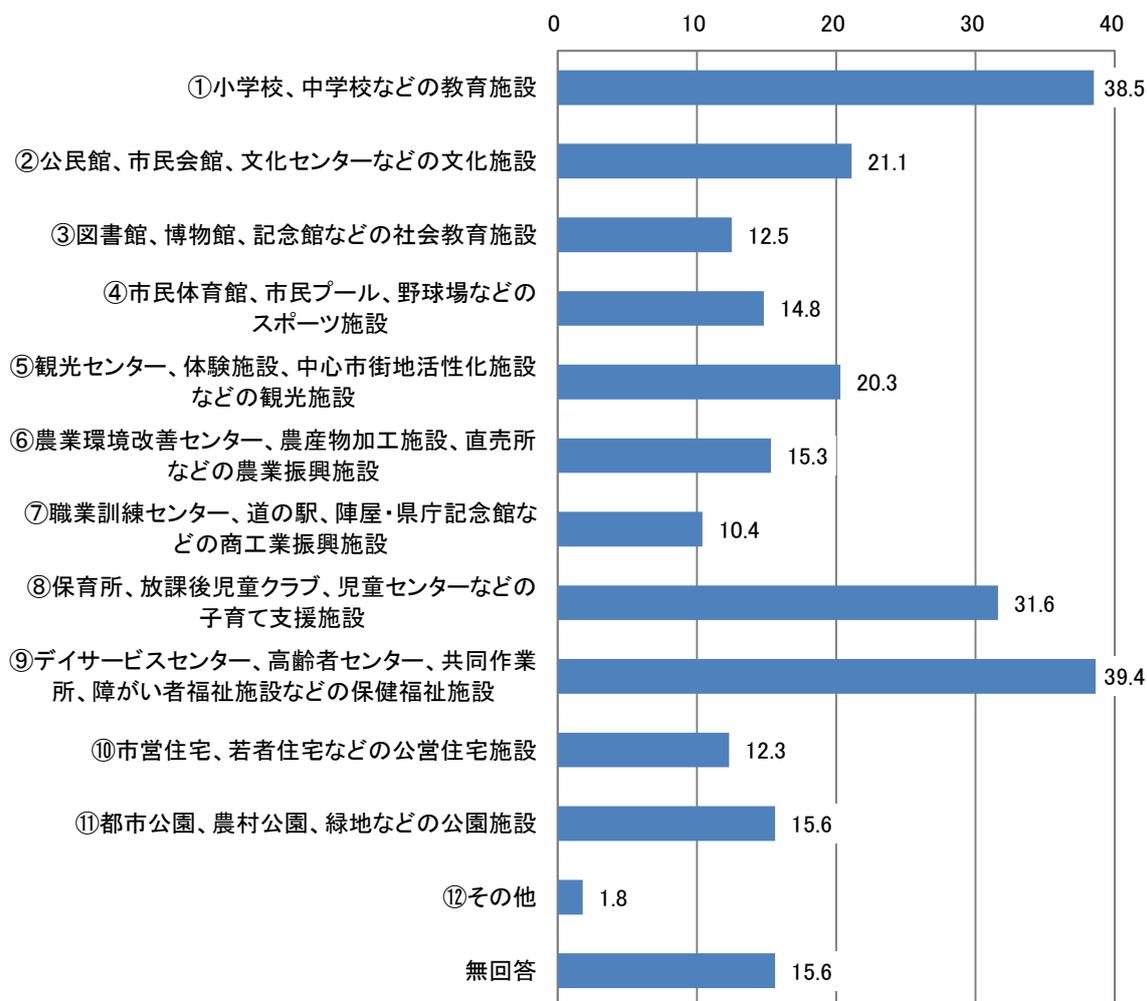


●「満足」「やや満足」を合わせると、「買い物の便利さ」が41.4%で最も高く、次いで「病院・医院・診療所の身近さ」が39.2%、「通勤や通学の便利さ」が32.0%などとなっています。【前回調査と比べると、上位3項目のうち「買い物の便利さ」と「病院・医院・診療所の身近さ」が逆転し、「買い物」で+3.5ポイント、「病院」で+0.3ポイント、3位の「通勤通学」で-0.5ポイント】

「やや不満」「不満」を合わせると、「鉄道・バスなど公共交通の利用のしやすさ」が45.2%、「買い物の便利さ」が26.6%、「通勤・通学の便利さ」が21.9%などとなっています。【前回調査と比べると、上位3項目は同じで、「鉄道・バス」が-1.9ポイント、「買い物」が+3.2ポイント、「通勤・通学」が-0.5ポイント】

問8 中野市を住みやすく、活力のあるまちとするためには、市内のどの公共施設が重要だと思いますか。重要と思う施設を3つまで選び、A欄に○をしてください。次に、公共施設の数についてどう思いますか。各施設について、B欄からあてはまるものを1つずつ選び、○をしてください。

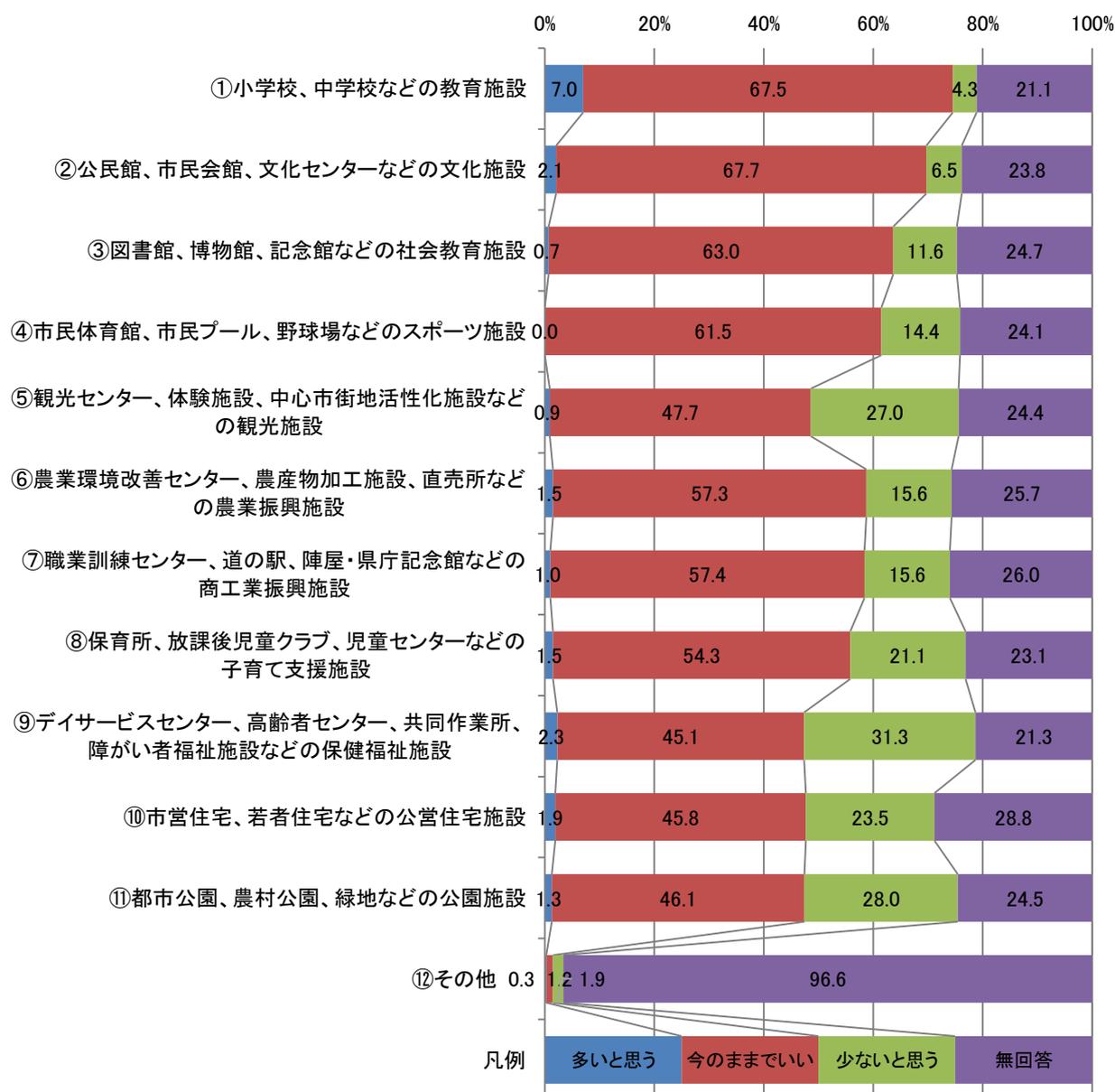
重要と思う公共施設(A) (総数681、単位%、3つまで複数回答)



●、「デイサービスセンター、高齢者センター、共同作業所、障がい者福祉施設などの保健福祉施設」が39.4%で最も多く、次いで「小学校、中学校などの教育施設」が38.5%、「保育所、放課後児童クラブ、児童センターなどの子育て支援施設」が31.6%となっています。【前回調査と比べて、上位2項目は逆転し、「保健福祉施設」で+2.9ポイント、「教育施設」で-2.3ポイント、「子育て支援施設」で+1.7ポイント】

一方、重要度評価の低い施設では、「職業訓練センター、道の駅、陣屋・県庁記念館などの商工業振興施設」が10.4%、「市営住宅、若者住宅などの公営住宅施設」が12.3%、「図書館、博物館、記念館などの社会教育施設」が12.5%などとなっています。【前回調査では、下位3項目は「商工業振興施設」10.7%、「公営住宅施設」11.5%、「農業振興施設」13.7%で、前回調査と比べると、「商工業振興施設」が-0.3ポイント、「公営住宅」が+0.9ポイント、「社会教育施設」が-2.6ポイント】

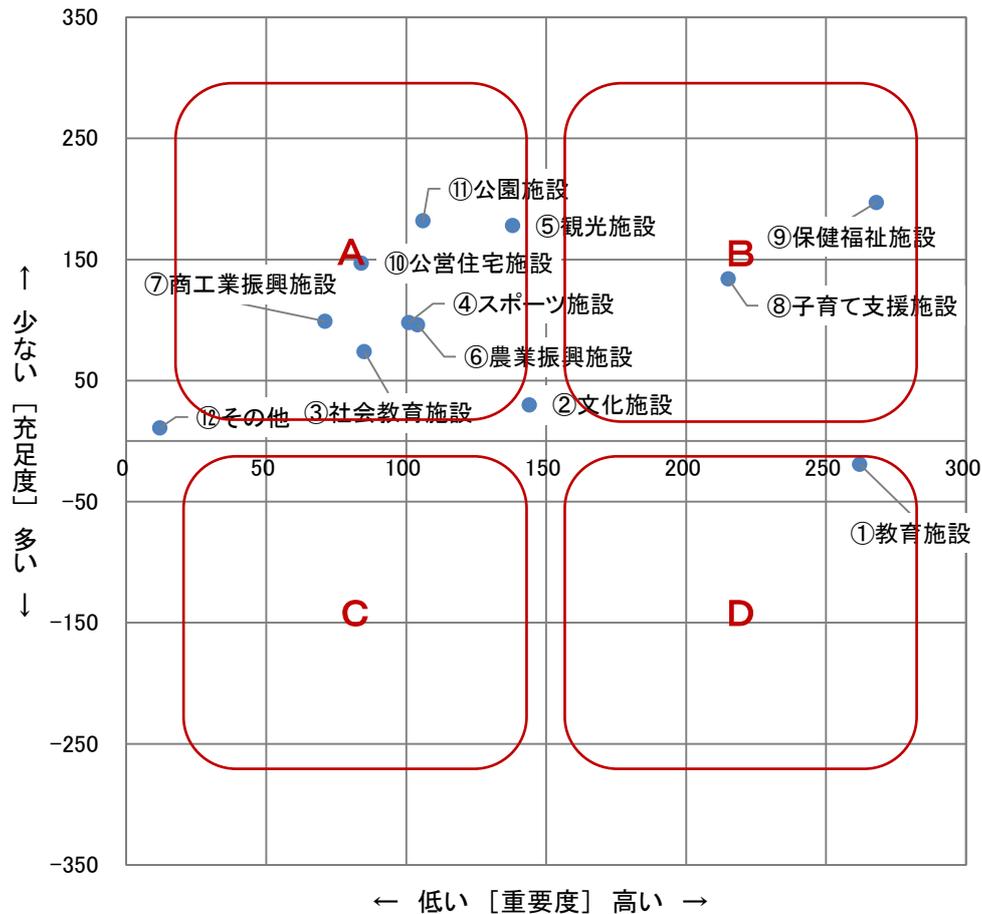
公共施設についての充足度(B) (総数681)



●どの施設も「今のままでいい」という回答が多数を占めています。「多いと思う」施設は「教育施設」が7.0%が一番多く、次いで「保健福祉施設」が2.3%、「文化施設」が2.1%など。【前回調査では、「教育施設」が11.4%、「保健福祉施設」が1.8%、「文化施設」が3.3%。前回調査に比べ「教育施設」は-4.4ポイント、「保健福祉施設」は+0.5ポイント、「文化施設」は-1.2ポイント】

「少ないと思う」施設は、「保健福祉施設」が31.3%、「公園施設」が28.0%、「観光施設」が27.0%などとなっています。【前回調査では「保健福祉施設」30.3%、「公園施設」29.5%、「観光施設」25.6%。前回調査と比べて「保健福祉施設」+1.0ポイント、「公園施設」-1.5ポイント、「観光施設」+1.4ポイント】

公共施設の重要度と充足度の相関



●施設の重要度と充足度の関係をみたのが上図です。重要度には回答数をそのまま指標として用い、充足度には「少ないと思う」と答えた回答数と「多いと思う」と答えた回答数の差を用いています。充足度の軸は、上に行くほど少ない(=足りない)という意見が多いことを表しています。

重要度で150、充足度で0を原点として設定すると(相対的な位置関係を知りたいため、原点は任意に設定できます)、上図はA・B・C・Dの4つのエリアに分けることができます。

A: 重要度は高くはないが施設が過少

B: 重要度は高いが施設が過少

C: 重要度は高くはないが施設が過多

D: 重要度は高いが施設が過多

この結果に基づき、政策的には、

A: 必要性を考慮しつつ整備を検討する施設(「文化施設」「社会教育施設」「スポーツ施設」「観光施設」「農業振興施設」「商工業振興施設」「公営住宅施設」「公園施設」)

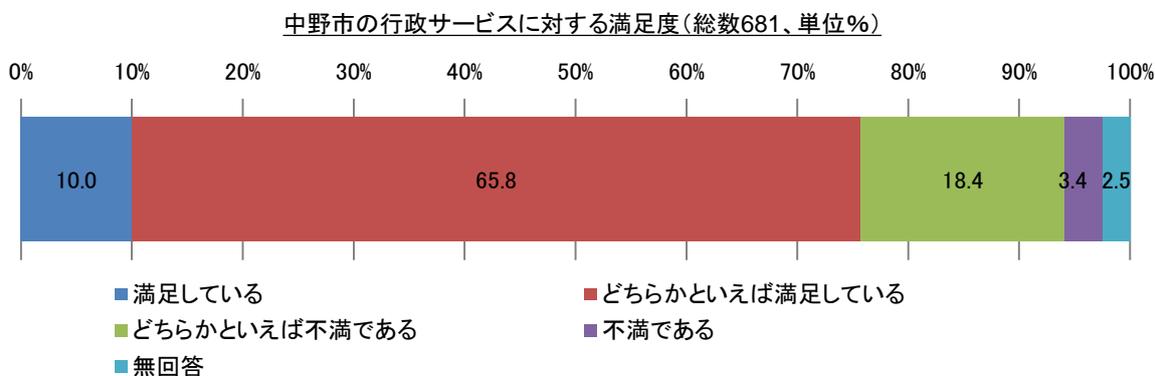
B: 優先的に拡張・整備する施設(「子育て支援施設」「保健福祉施設」)

C: 漸次調整・縮小ないし質的に整備する施設(なし)

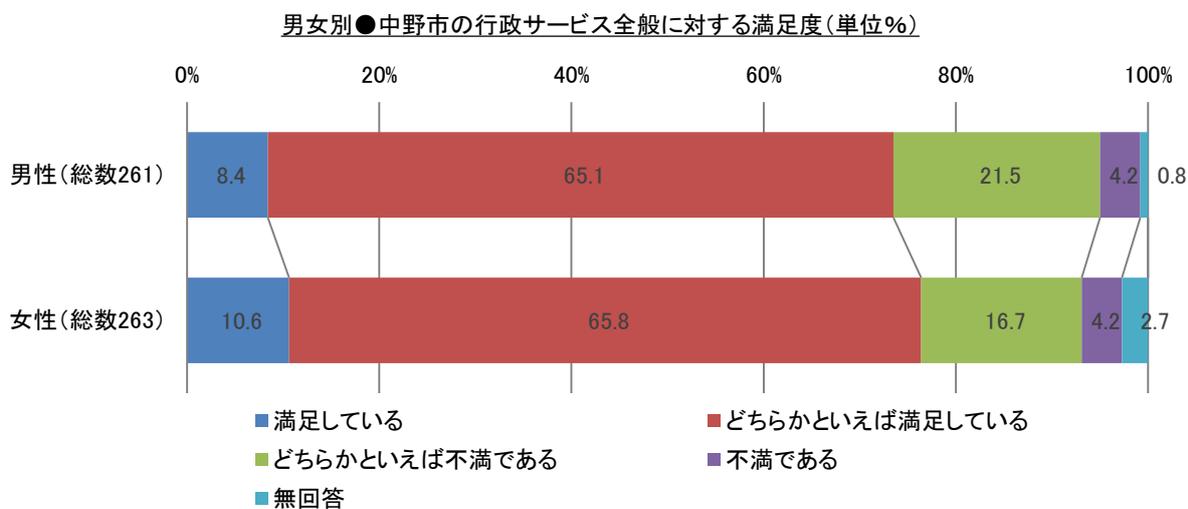
D: 優先的に調整ないし質的に整備する施設(「教育施設」)

などの方向性が求められます。

問9 中野市の行政サービス全般に対する、あなたの「満足度」について、次の中からあてはまるものを1つだけ選び、○をしてください。

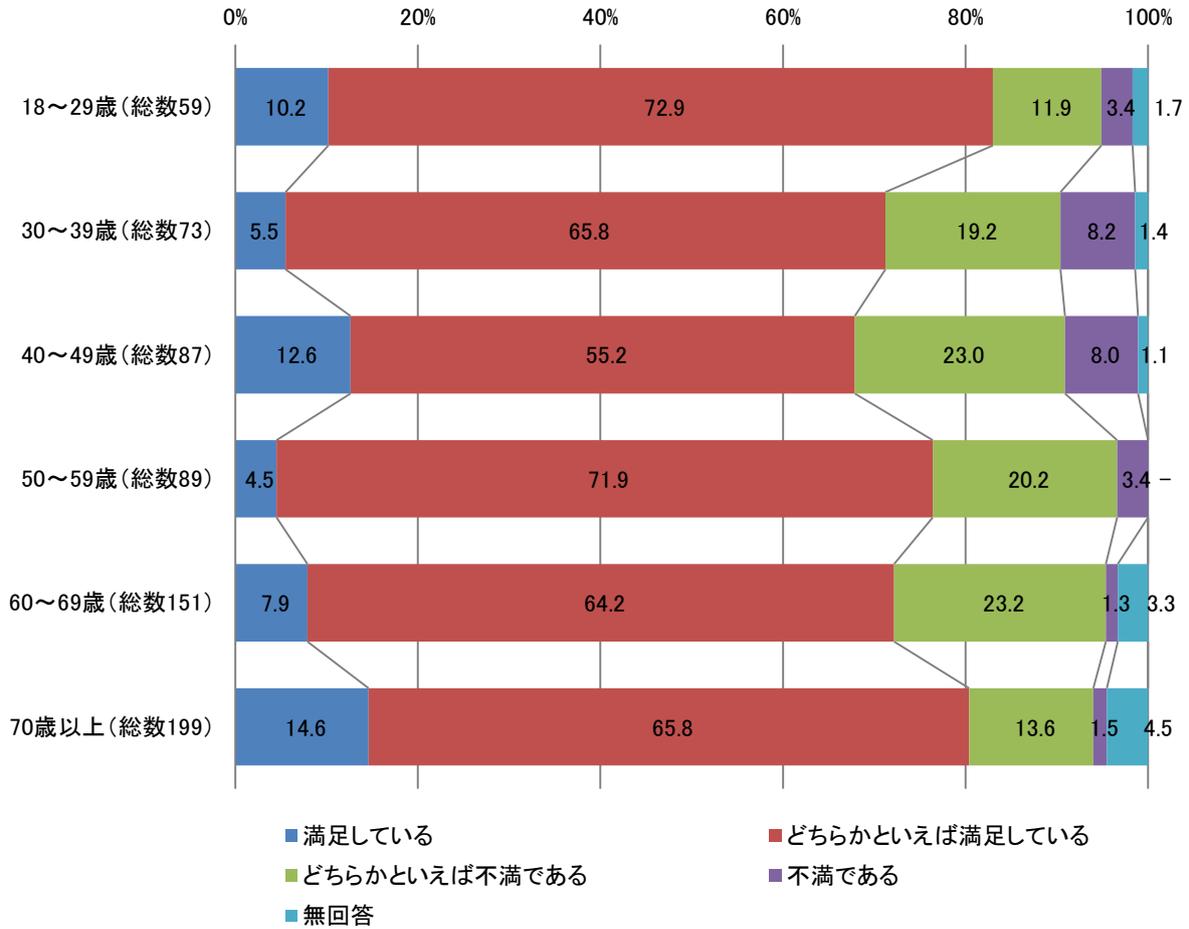


●「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると、75.8%が満足と回答しています。【前回調査では、「満足している」8.0%、「どちらかといえば満足している」60.9%、「どちらかといえば不満である」19.7%、「不満である」5.2%、「無回答」6.2%。「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると、前回調査と比べ+6.9ポイント】



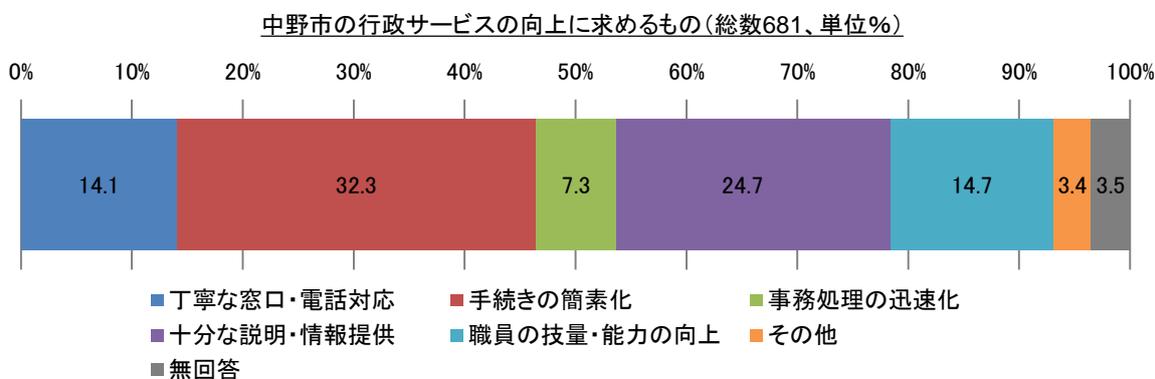
●女性の方が満足度が高く、「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると、女性が76.4%、男性が73.5%となっています。

年齢別●中野市の行政サービス全般に対する満足度(単位%)

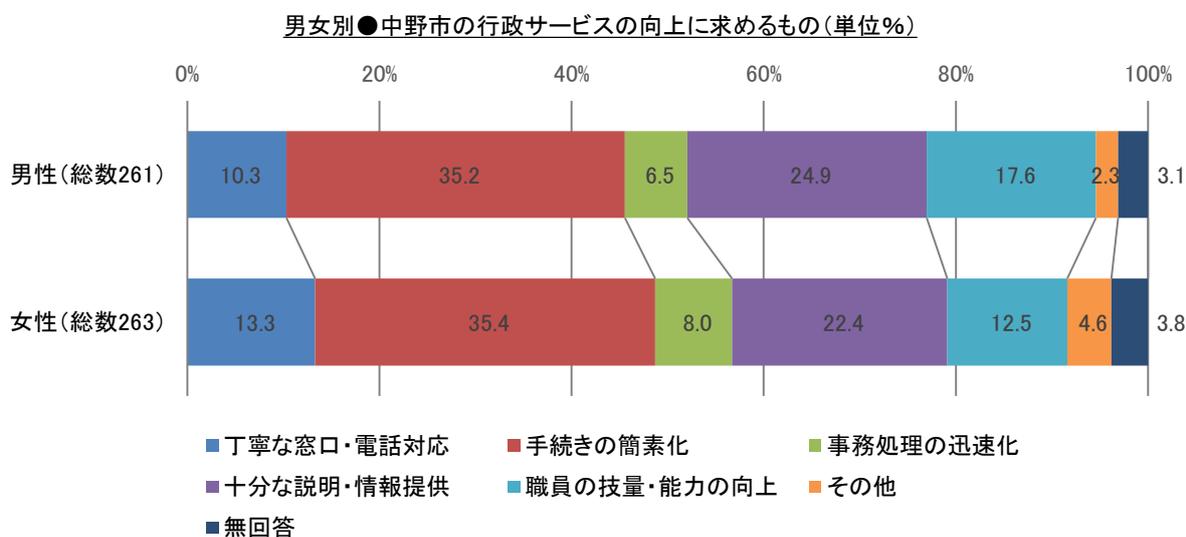


●「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると、「18～29歳」が最も高く83.1%、次いで「70歳以上」80.4%、「50～59歳」76.4%、「60～69歳」72.1%などとなっています。不満度がとくに高いのは「40～49歳」で、「どちらかといえば不満である」「不満である」を合わせると31.0%となっています。

問10 あなたは中野市の行政サービスの向上に何を求めますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、○をしてください。

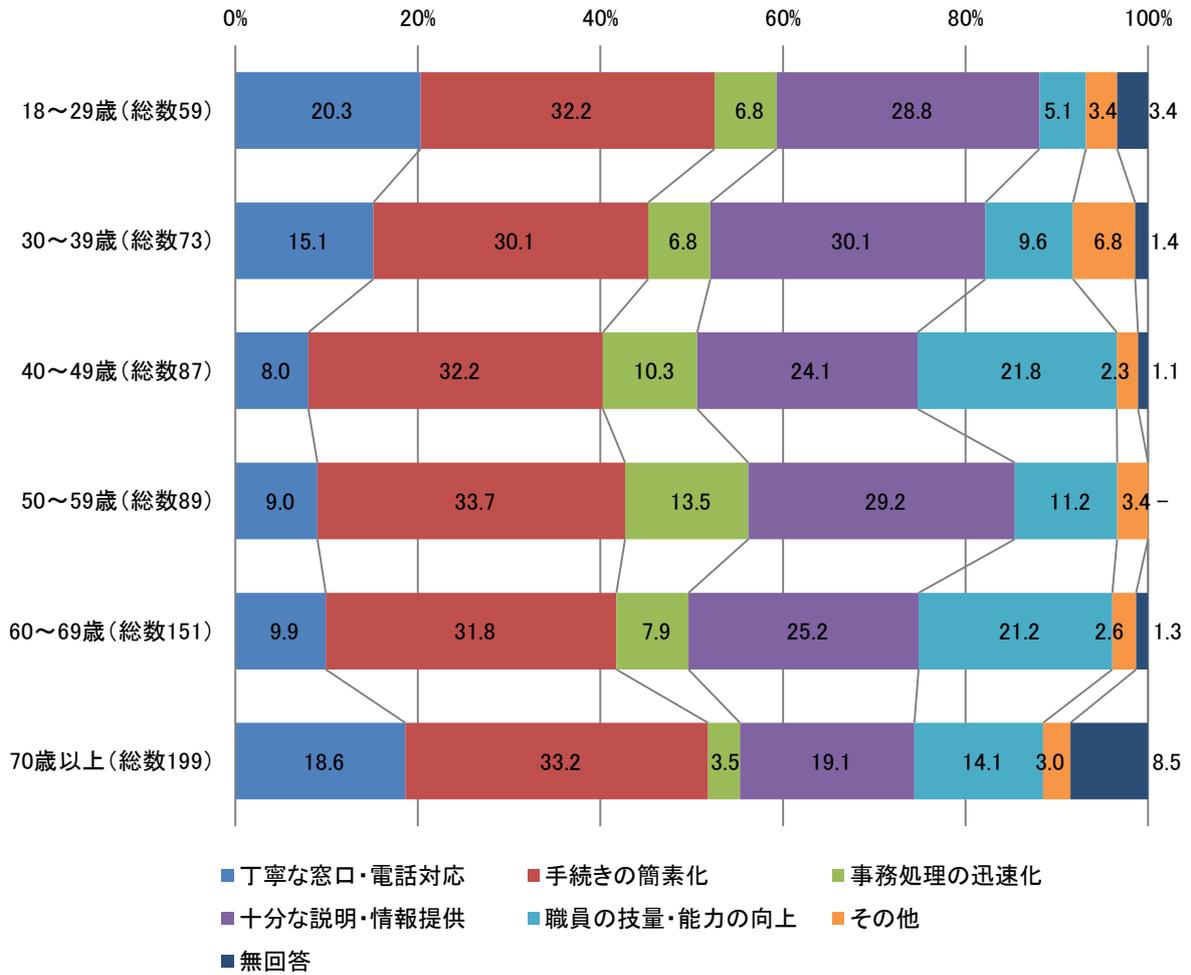


●「手続きの簡素化」が32.3%で最も多く、次いで「十分な説明・情報提供」24.7%、「職員の技量・能力の向上」14.7%、「丁寧な窓口・電話対応」14.1%などとなっています。【前回調査では、「手続きの簡素化」が29.0%、「十分な説明・情報提供」23.5%、「職員の技量・能力の向上」15.3%、「丁寧な窓口・電話対応」13.6%など。前回調査と比べ「手続きの簡素化」+3.3ポイント、「十分な説明・情報提供」+1.2ポイント、「職員の技量・能力の向上」-0.6ポイント、「丁寧な窓口・電話対応」+0.5ポイント】



●男性に比べ女性では、とくに「丁寧な窓口・電話対応」が13.3%と3ポイント高く、一方「職員の技量・能力の向上」は12.5%と5.1ポイント低くなっています。

年齢別●中野市の行政サービスの向上に求めるもの(単位%)

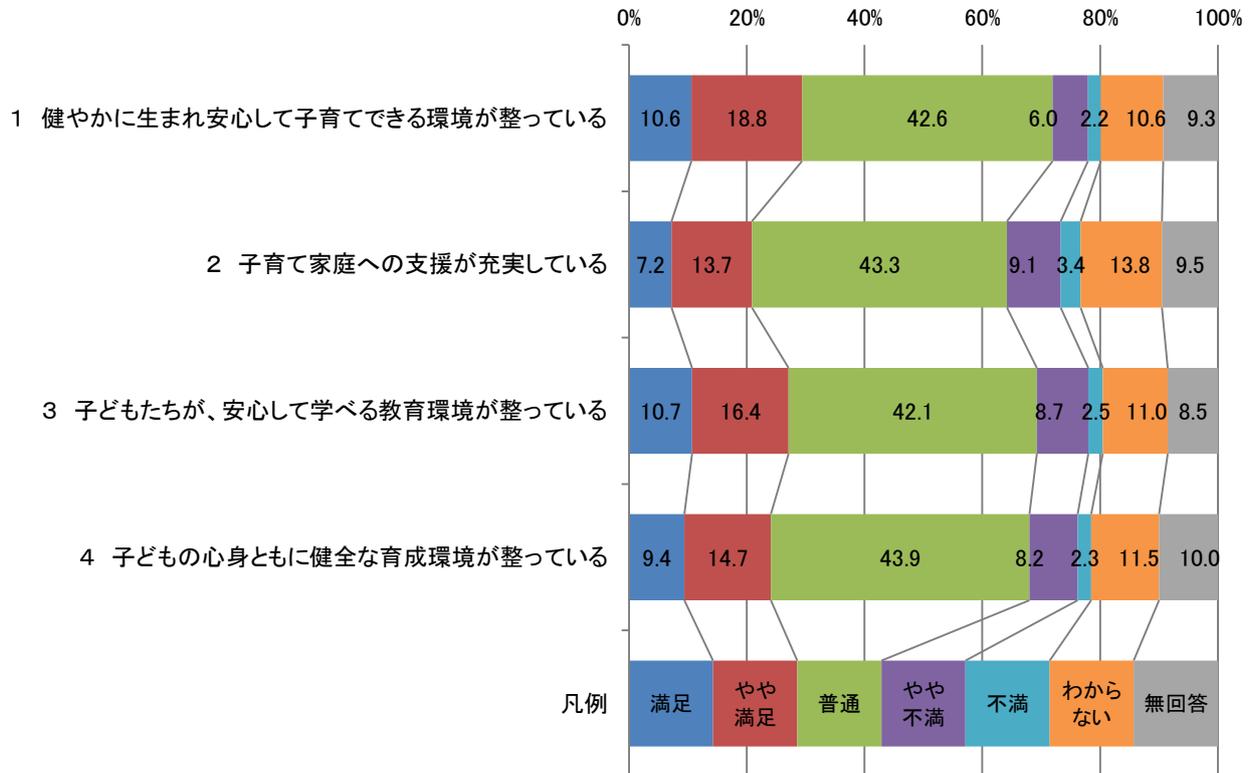


●「丁寧な窓口・電話対応」は、「18～29歳」で20.3%、「70歳以上」18.6%、「十分な説明・情報提供」は、「30～39歳」で30.1%、「50～59歳」で29.2%、「18～29歳」で28.8%、「職員の技量・能力の向上」は、「40～49歳」で21.8%、「60～69歳」で21.2%と、いずれも高くなっています。

問11 市の政策に対するあなたの満足度(実感)について、あてはまるものを1つずつ選び、○をしてください。

《子育て・学校教育》

市政に対する満足度《子育て・学校教育》(総数681)

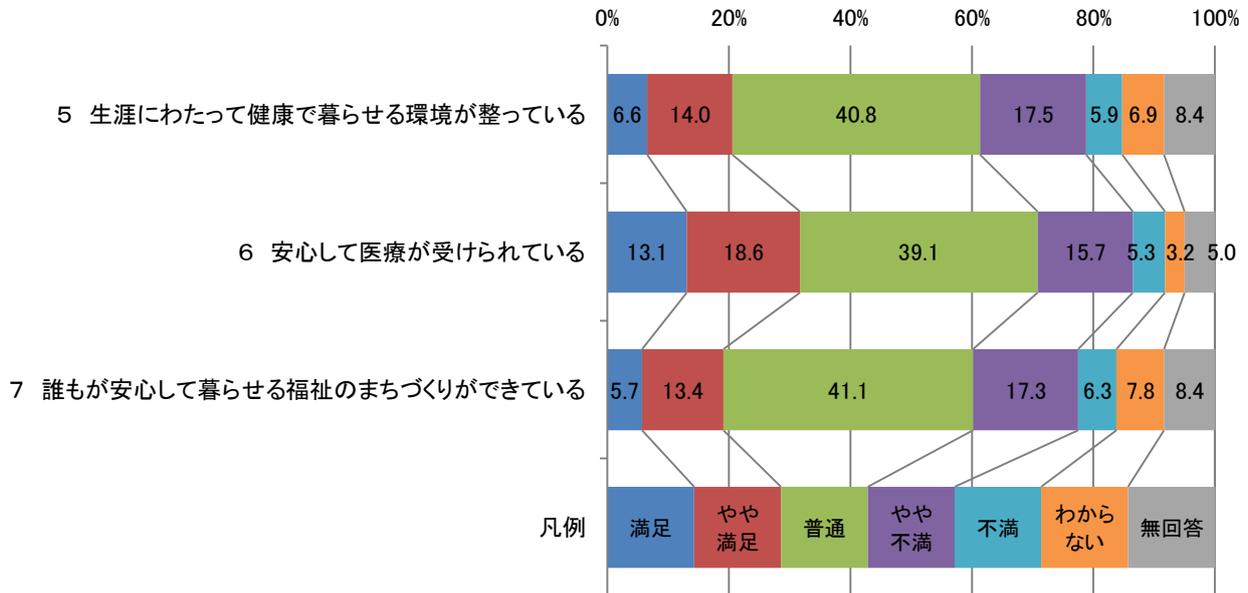


●どの項目も「普通」が40%台前半を占めます。「満足」「やや満足」を合わせると、「健やかに生まれ安心して子育てできる環境」への満足度が29.4%で最も高く、次いで「子どもたちが、安心して学べる教育環境」が27.1%、「子どもの心身ともに健全な育成環境」が24.1%などとなっています。

一方、「やや不満」「不満」を合わせると、「子育て家庭への支援」が12.5%で最も高く、次いで「子どもたちが、安心して学べる教育環境」が11.2%、「子どもの心身ともに健全な育成環境」が10.5%などとなっています。子育て・学校教育の分野では、どの項目も満足度が不満度を上回っています。

《健康・福祉》

市政に対する満足度《健康・福祉》(総数681)

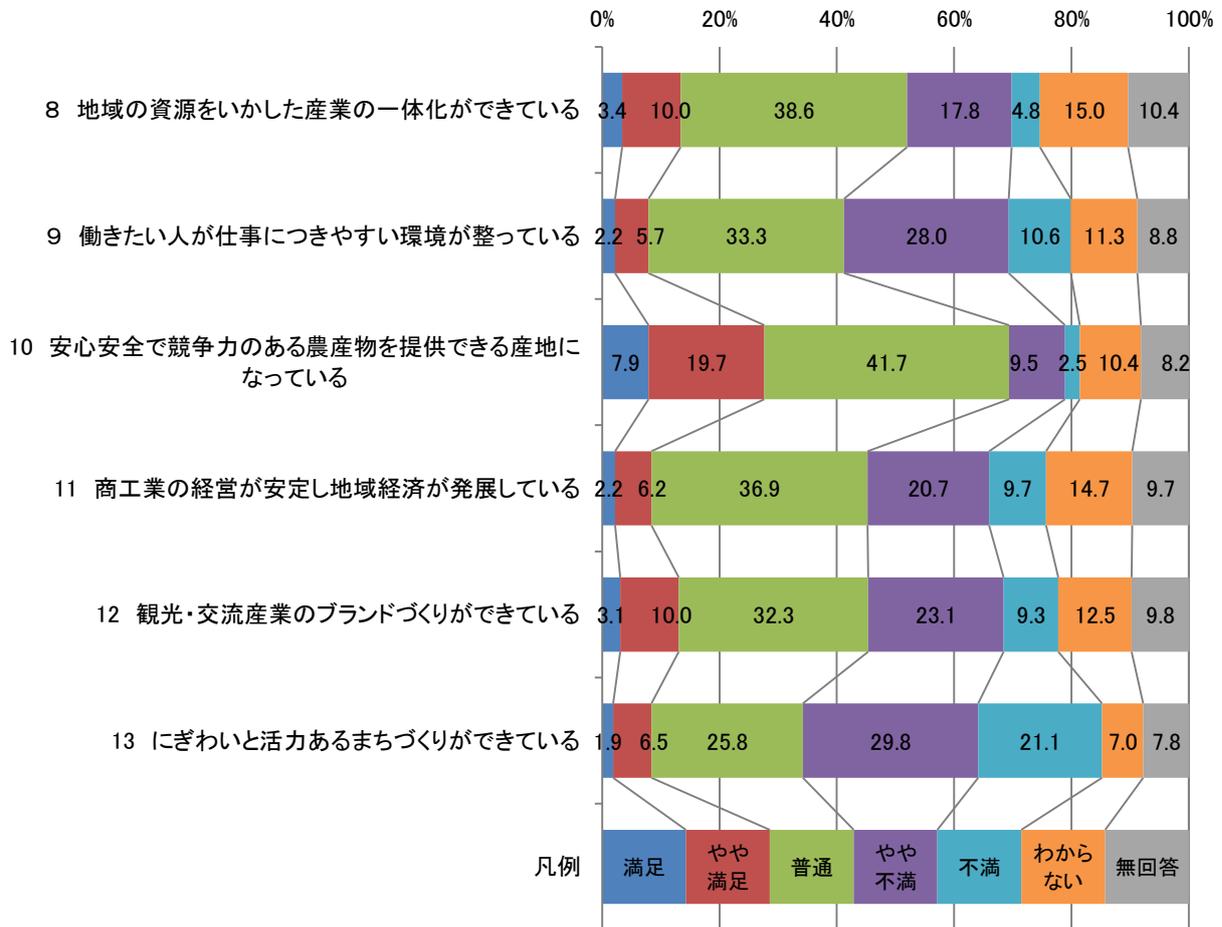


●どの項目も「普通」が40%前後を占めます。「満足」「やや満足」を合わせると、「安心して医療が受けられている」が31.7%で最も高く、次いで「生涯にわたって健康で暮らせる環境」が20.6%、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」が19.1%となっています。

一方、「やや不満」「不満」を合わせると、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」が23.6%で最も高く、次いで「生涯にわたって健康で暮らせる環境」が23.4%、「安心して医療が受けられている」が21.0%となっています。健康・福祉の分野で満足度が不満度を上回っているのは医療の項目のみです。

《産業・経済》

市政に対する満足度《産業・経済》(総数681)

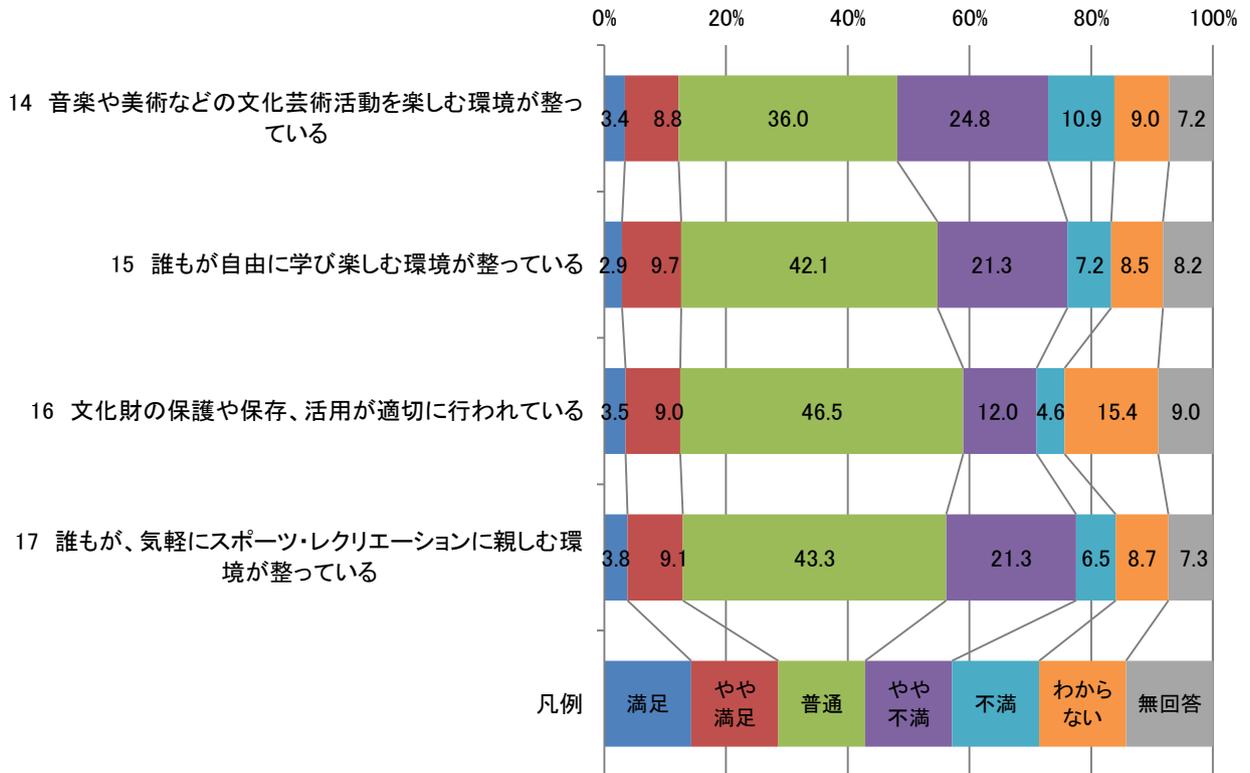


●項目ごとに評価が大きく異なっています。「満足」「やや満足」を合わせると、「安心安全で競争力のある農産物を提供できる産地」が27.6%で最も高く、次いで「地域の資源をいかした産業の一体化」が13.4%、「観光・交流産業のブランドづくり」が13.1%などとなっています。

「やや不満」「不満」を合わせた割合は全般に高くなっていますが、「にぎわいと活力あるまちづくり」が50.9%で最も高く、次いで「働きたい人が仕事につきやすい環境」が38.6%、「観光・交流産業のブランドづくり」が32.4%などとなっています。満足度が不満度を上回っているのは、「安心安全で競争力のある農産物を提供できる産地」のみです。

《文化・生涯学習》

市政に対する満足度《文化・生涯学習》(総数681)

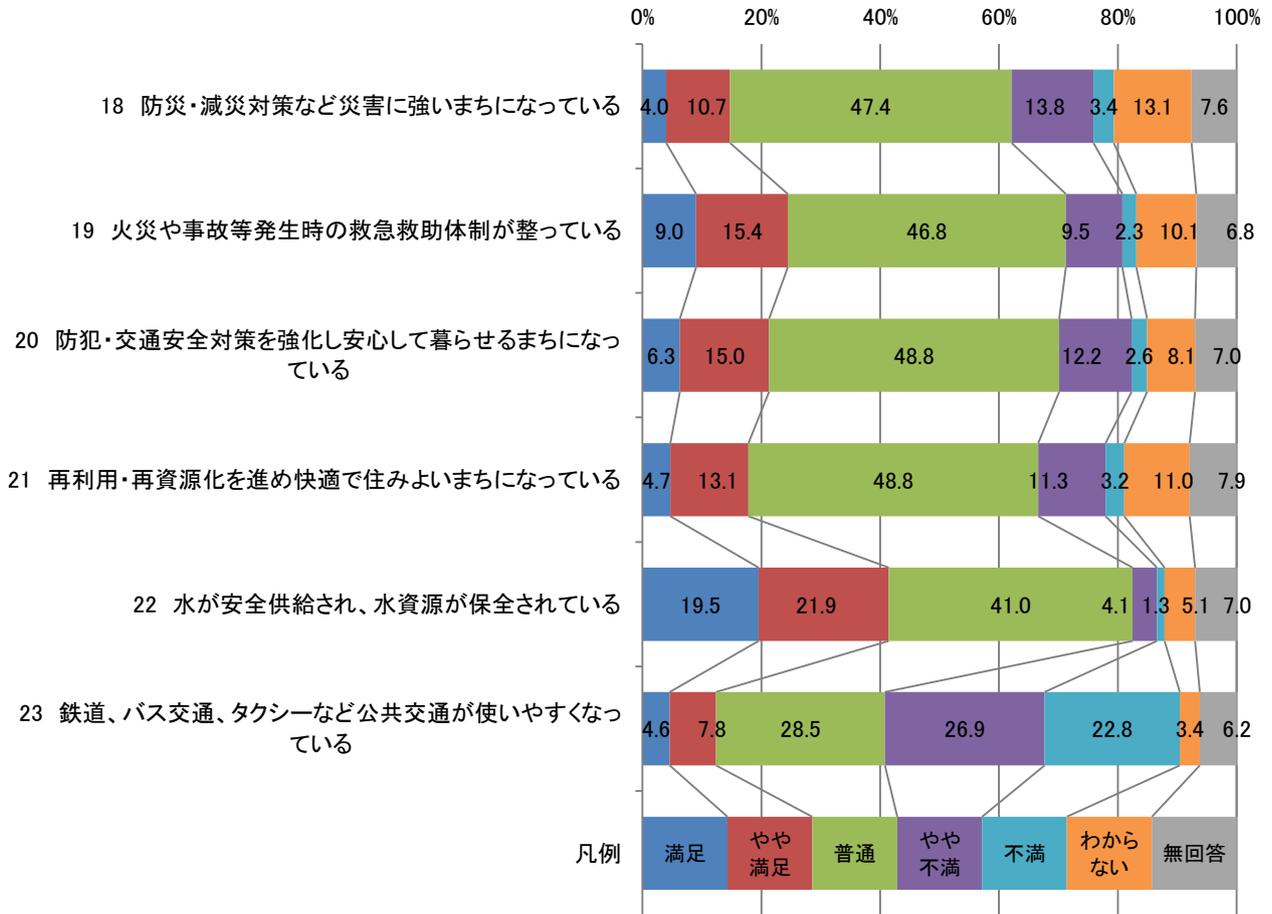


●どの項目も「普通」が40%前後を占めますが、いずれも不満の割合が大きくなっています。「満足」「やや満足」を合わせると、「誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ環境」が12.9%で最も高く、次いで、「誰もが自由に学び楽しむ環境」が12.6%、「文化財の保護や保存、活用」が12.5%などとなっています。

一方、「やや不満」「不満」を合わせると、「音楽や美術などの文化芸術活動を楽しむ環境」が35.7%で最も高く、次いで「誰もが自由に学び楽しむ環境」が28.5%、「誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ環境」が27.8%などとなっています。

《定住環境》

市政に対する満足度《定住環境》(総数681)

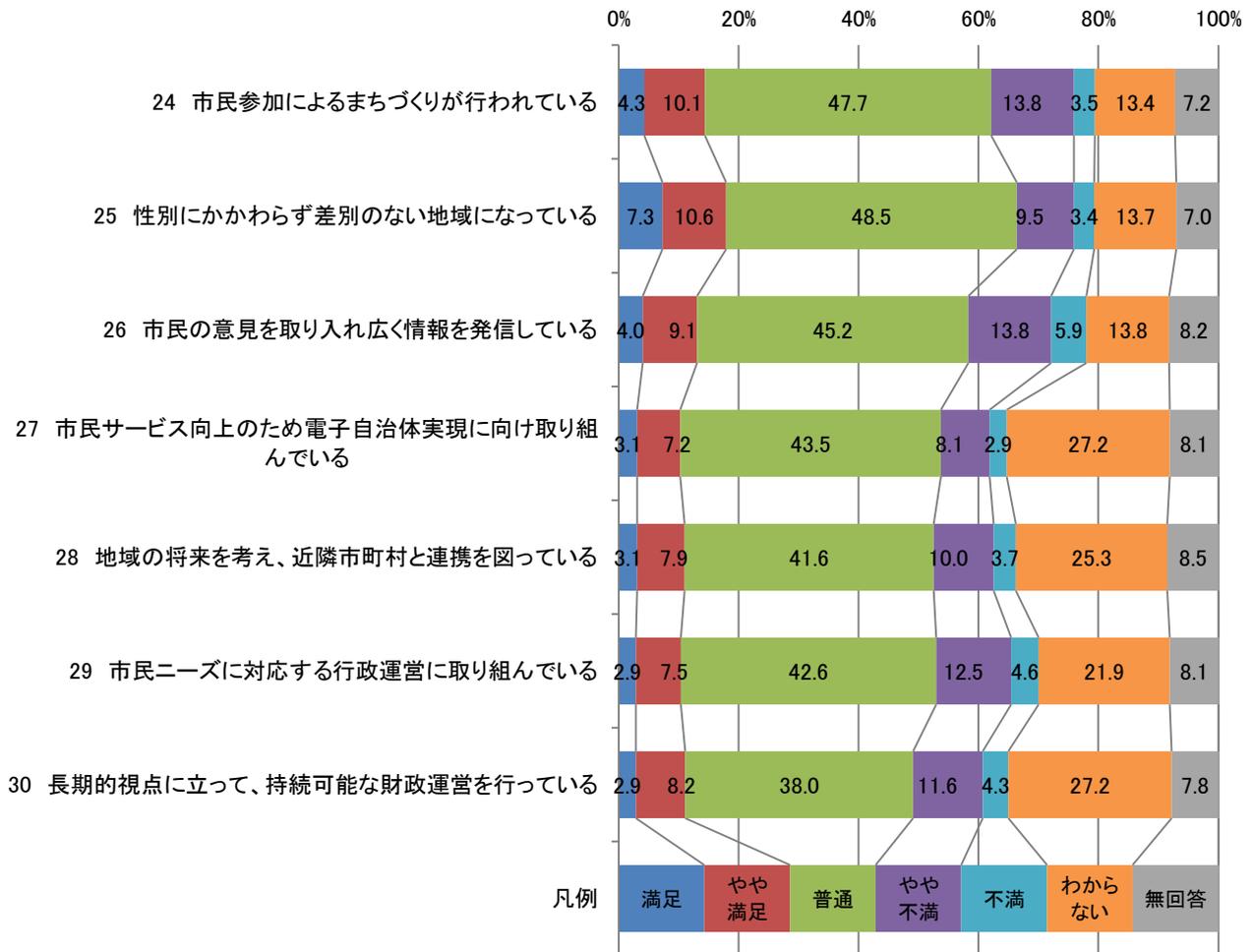


●いずれも「普通」が多くを占めています。「満足」「やや満足」を合わせると、「水が安全供給され、水資源が保全」が41.4%とびぬけて高く(全分野中最高)、次いで「火災や事故等発生時の救急救助体制」が24.4%、「防犯・交通安全対策を強化し安心して暮らせるまち」が21.3%などとなっています。

一方、「やや不満」「不満」を合わせると、「鉄道、バス、タクシーなど公共交通」がとびぬけて高く49.7%(全分野中最高)、次いで「防災・減災対策など災害に強いまち」17.2%、「防犯・交通安全対策を強化し安心して暮らせるまち」が14.8%などとなっています。定住環境の分野では、満足度の最高項目と不満足度の最高項目が同居しています。

《協働・行政経営》

市政に対する満足度《協働・行政経営》(総数681)



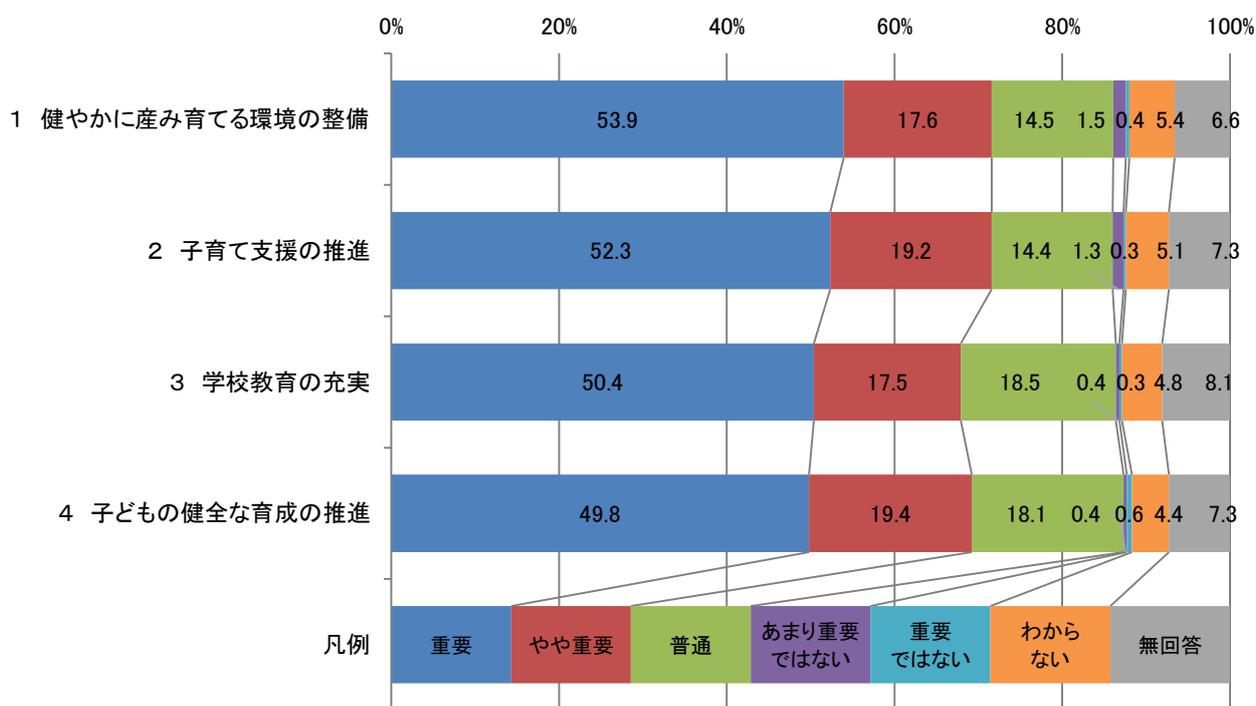
●いずれも「普通」が多数を占めていますが、同時に「わからない」という意見も多くみられます。「満足」「やや満足」を合わせると、「性別にかかわらず差別のない地域」が17.9%で最も高く、次いで「市民参加によるまちづくり」が14.4%、「市民の意見を取り入れ広く情報発信」が13.1%などとなっています。

「やや不満」「不満」を合わせると、「市民の意見を取り入れ広く情報発信」が19.7%で最も高く、次いで「市民参加によるまちづくり」が17.3%、「市民ニーズに対応する行政運営」が17.1%などとなっています。協働・行政経営の分野には、わかりにくく評価が難しい項目が含まれます。

問12 10年後、20年後の将来、中野市が元気で夢がもてる、安心・安全な都市であるためには、今後、どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。次の各項目について、あてはまるものを1つずつ選び、○をしてください。

《未来のふるさとを担う子どもたちを育むまちづくり(子育て・学校教育)》

市の施策の重要度《子育て・学校教育》(総数681)

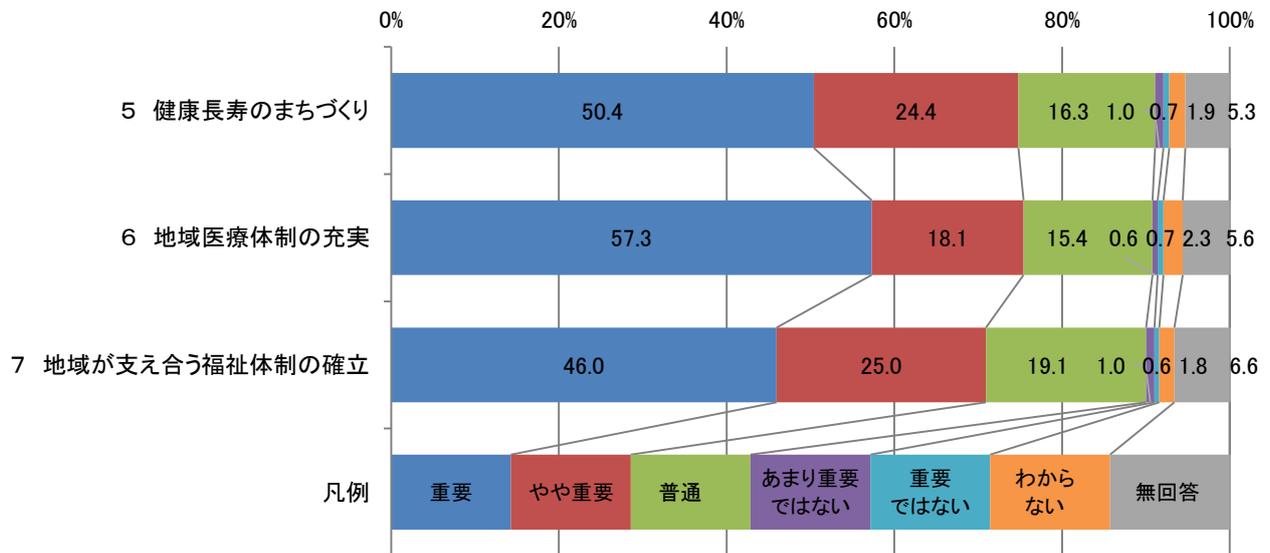


●「重要」「やや重要」を合わせると、「健やかに産み育てる環境の整備」と「子育て支援の推進」が71.5%で最も高く、次いで「子どもの健全な育成の推進」が69.2%などとなっています。

「あまり重要ではない」「重要ではない」はごく少数です。

《支えあい健やかに暮らせる健康長寿のまちづくり(健康・福祉)》

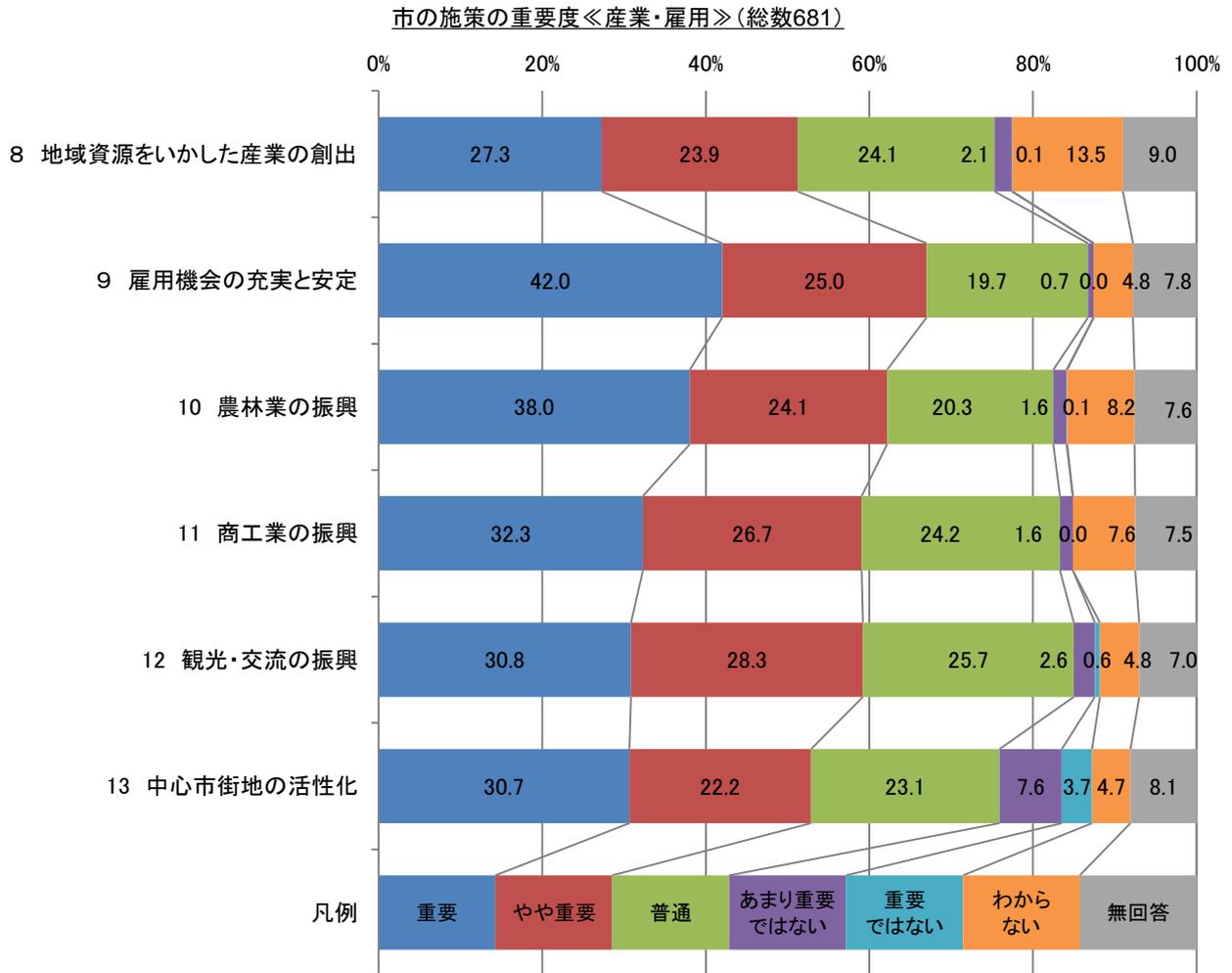
市の施策の重要度《健康・福祉》(総数681)



●「重要」「やや重要」を合わせると、「地域医療体制の充実」が75.4%で最も高く、次いで「健康長寿のまちづくり」が74.8%、「地域が支えあう福祉体制の確立」が71.0%となっています。

「あまり重要ではない」「重要ではない」はごく少数です。

《にぎわいと活力あふれるまちづくり(産業・雇用)》

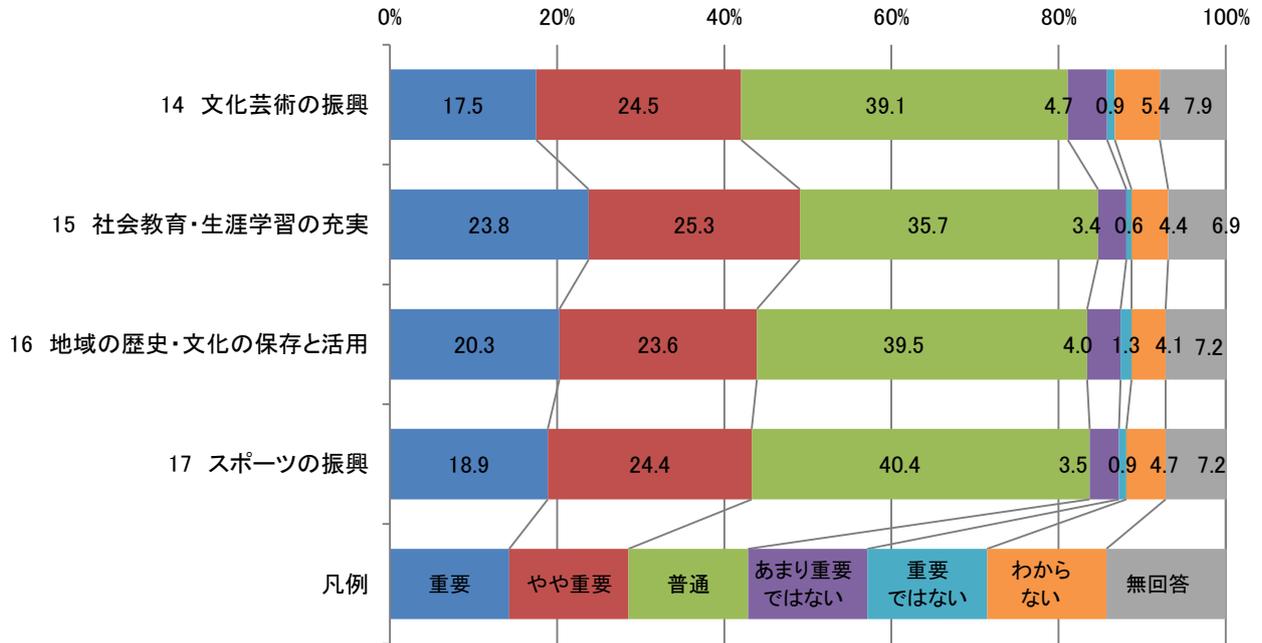


●「重要」「やや重要」を合わせると、「雇用機会の充実と安定」が67.0%で最も高く、次いで「農林業の振興」62.1%、「観光・交流の振興」59.1%、「商工業の振興」59.0%などとなっています。農林業、観光交流、商工業はほぼ同率です。

「あまり重要ではない」「重要ではない」はごく少数ですが、「中心市街地の活性化」に対しては、合わせて11.3%が重要ではないとしています。

《ふるさとを学び育つ文化のまちづくり(文化・生涯学習)》

市の施策の重要度《文化・生涯学習》(総数681)

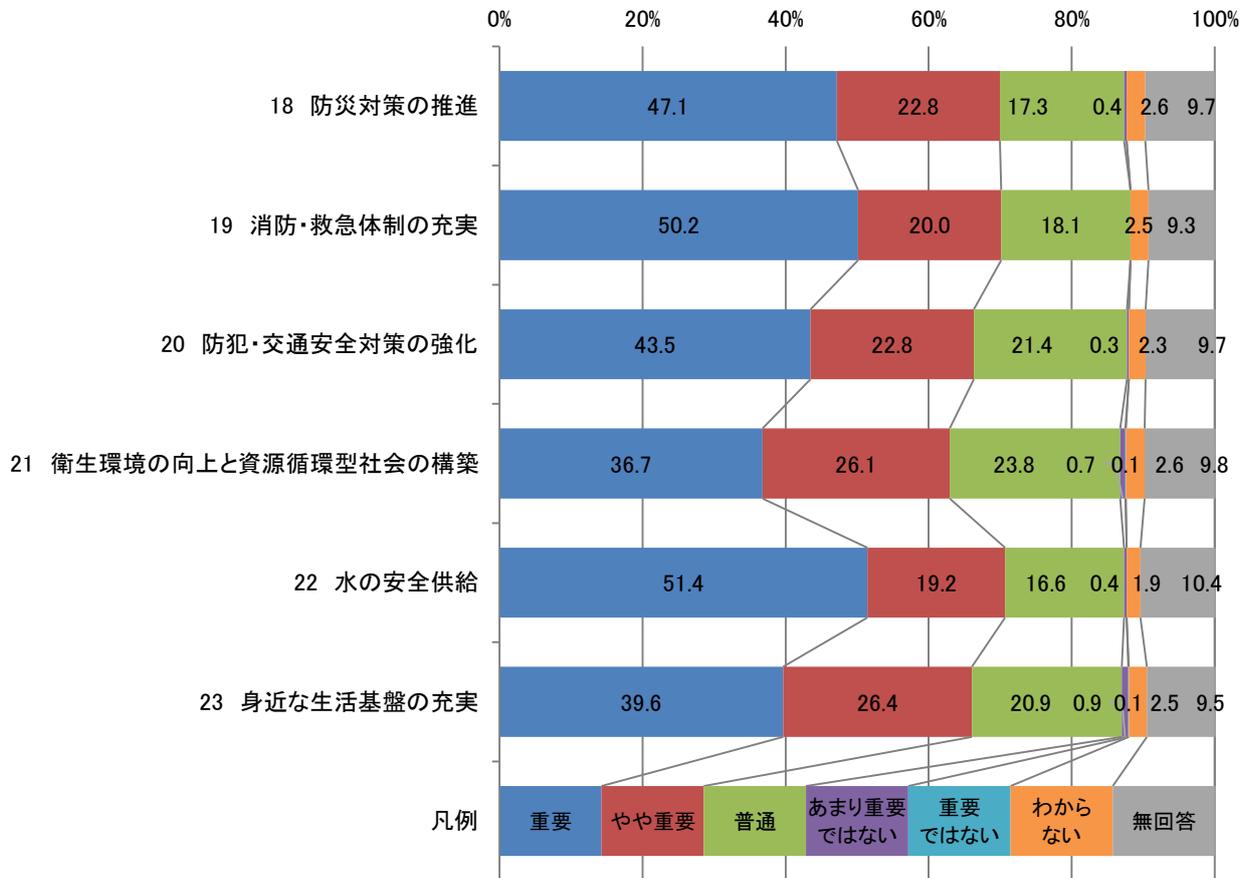


●どの項目も「普通」が最も多くなっています。「重要」「やや重要」を合わせると、「社会教育・生涯学習の充実」が49.1%で最も高く、次いで「地域の歴史・文化の保存と活用」43.9%、「スポーツの振興」43.3%などとなっています。

「あまり重要ではない」「重要ではない」という意見もごく少数ですがみられます。

《安心・安全な住みよいまちづくり(定住環境)》

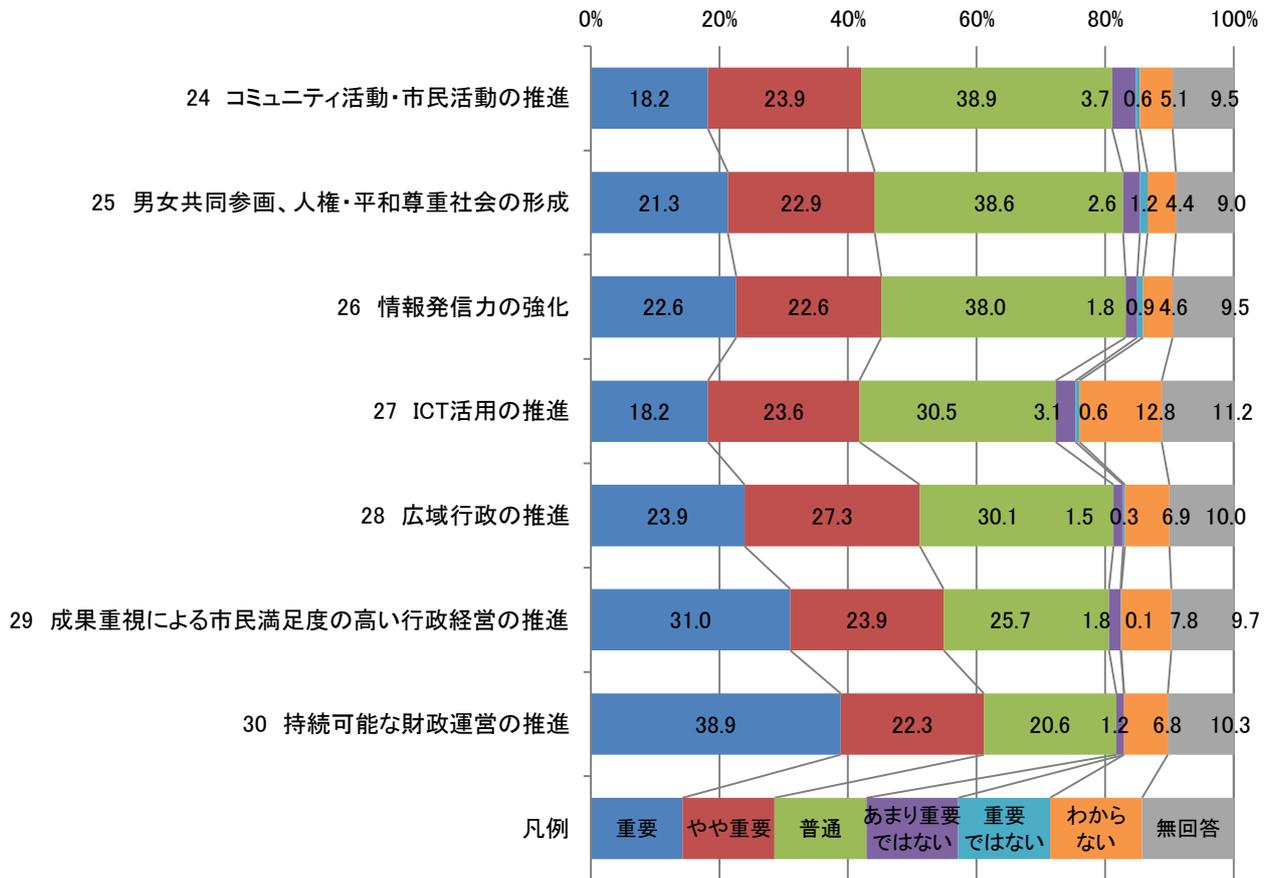
市の施策の重要度《定住環境》(総数681)



●「重要」「やや重要」を合わせると、「水の安全供給」が70.6%で最も高く、次いで「消防・救急体制の充実」70.2%、「防災対策の推進」69.9%、「防犯・交通安全対策の強化」66.3%などとなっています。
 「あまり重要ではない」「重要ではない」はごく少数です。

《市民参加と協働のまちづくり(協働・行政経営)》

市の施策の重要度《協働・行政経営》(総数681)



●ほとんどの項目で「普通」が最も多くなっています。「重要」「やや重要」を合わせると、「持続可能な財政運営の推進」が61.2%で最も高く、次いで「成果重視による市民満足度の高い行政経営の推進」54.9%、「広域行政の推進」51.2%などとなっています。

「あまり重要ではない」「重要ではない」は少数ですが、この協働・行政経営の分野では、「わからない」との回答がいずれも数%から十数%みられます。

表1 満足度と重要度の評価点一覧

No.	満足度項目	評価点	重要度項目	評価点	分野
1	健やかに生まれ安心して子育てできる環境が整っている	0.37	健やかに産み育てる環境の整備	1.40	子育て・学校教育
2	子育て家庭への支援が充実している	0.16	子育て支援の推進	1.39	子育て・学校教育
3	子どもたちが、安心して学べる教育環境が整っている	0.30	学校教育の充実	1.35	子育て・学校教育
4	子どもの心身ともに健全な育成環境が整っている	0.26	子どもの健全な育成の推進	1.33	子育て・学校教育
5	生涯にわたって健康で暮らせる環境が整っている	-0.02	健康長寿のまちづくり	1.32	健康・福祉
6	安心して医療が受けられている	0.20	地域医療体制の充実	1.42	健康・福祉
7	誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりができている	-0.06	地域が支え合う福祉体制の確立	1.25	健康・福祉
8	地域の資源をいかした産業の一体化ができて	-0.14	地域資源をいかした産業の創出	0.98	産業・経済
9	働きたい人が仕事につきやすい環境が整っている	-0.49	雇用機会の充実と安定	1.24	産業・経済
10	安心安全で競争力のある農産物を提供できる産地になっている	0.26	農林業の振興	1.17	産業・経済
11	商工業の経営が安定し地域経済が発展している	-0.39	商工業の振興	1.06	産業・経済
12	観光・交流産業のブランドづくりができている	-0.33	観光・交流の振興	0.98	産業・経済
13	にぎわいと活力あるまちづくりができている	-0.73	中心市街地の活性化	0.79	産業・経済
14	音楽や美術などの文化芸術活動を楽しむ環境が整っている	-0.37	文化芸術の振興	0.61	文化・生涯学習
15	誰もが自由に学び楽しむ環境が整っている	-0.24	社会教育・生涯学習の充実	0.77	文化・生涯学習
16	文化財の保護や保存、活用が適切に行われている	-0.07	地域の歴史・文化の保存と活用	0.65	文化・生涯学習
17	誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ環境が整っている	-0.21	スポーツの振興	0.65	文化・生涯学習
18	防災・減災対策など災害に強いまちになっている	-0.02	防災対策の推進	1.33	定住環境
19	火災や事故等発生時の救急救助体制が整っている	0.23	消防・救急体制の充実	1.36	定住環境
20	防犯・交通安全対策を強化し安心して暮らせるまちになっている	0.12	防犯・交通安全対策の強化	1.24	定住環境
21	再利用・再資源化を進め快適で住みよいまちになっている	0.06	衛生環境の向上と資源循環型社会の構築	1.13	定住環境
22	水が安全供給され、水資源が保全されている	0.62	水の安全供給	1.39	定住環境
23	鉄道、バス交通、タクシーなど公共交通が使いやすくなっている	-0.61	身近な生活基盤の充実	1.19	定住環境
24	市民参加によるまちづくりが行われている	-0.03	コミュニティ活動・市民活動の推進	0.65	協働・行政経営
25	性別にかかわらず差別のない地域になっている	0.11	男女共同参画、人権・平和尊重社会の形成	0.70	協働・行政経営
26	市民の意見を取り入れ広く情報を発信している	-0.11	情報発信力の強化	0.75	協働・行政経営
27	市民サービス向上のため電子自治体実現に向け取り組んでいる	-0.01	ICT 活用の推進	0.73	協働・行政経営
28	地域の将来を考え、近隣市町村と連携を図っている	-0.05	広域行政の推進	0.88	協働・行政経営
29	市民ニーズに対応する行政運営に取り組んでいる	-0.12	成果重視による市民満足度の高い行政経営の推進	1.02	協働・行政経営
30	長期的視点に立って、持続可能な財政運営を行っている	-0.09	持続可能な財政運営の推進	1.19	協働・行政経営

【表1について】

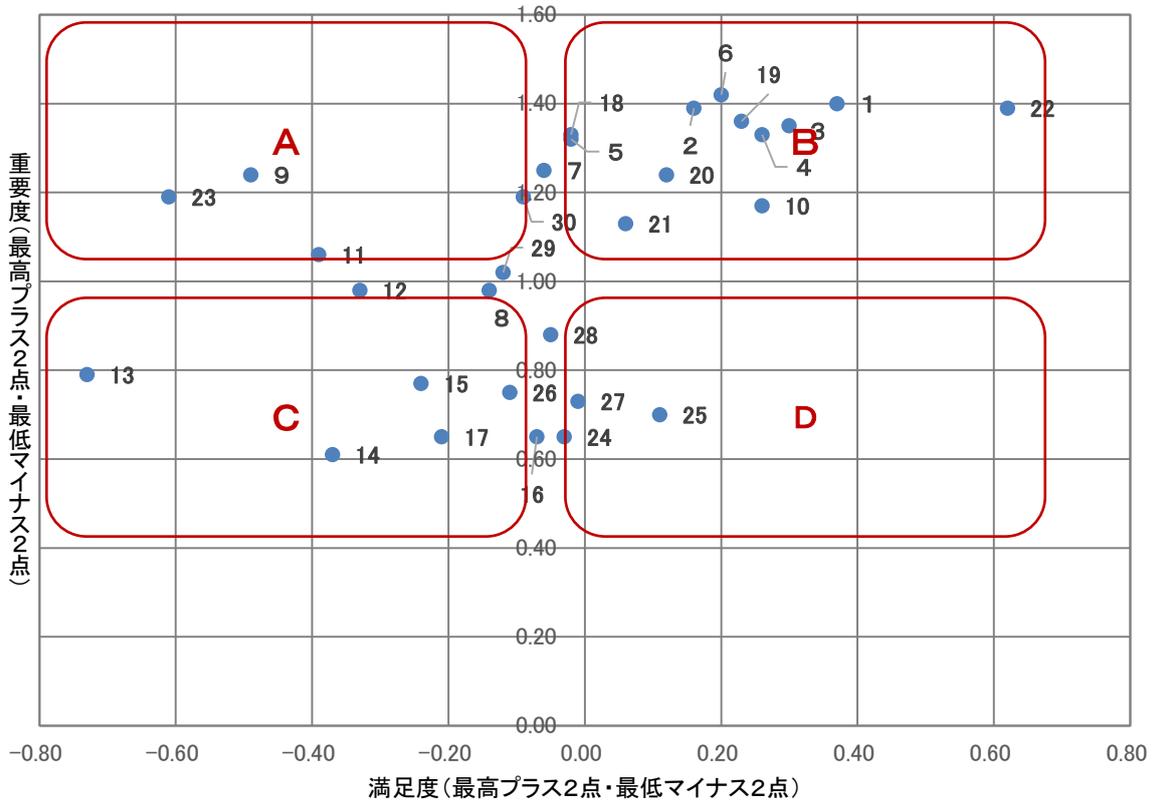
それぞれの評価点は、次のように求めました。

満足:2点/やや満足:1点/普通:0点/やや不満:-1点/不満:-2点

重要:2点/やや重要:1点/普通:0点/あまり重要ではない:-1点/重要ではない:-2点

とし、「わからない」「無回答」は除き、これらにそれぞれの回答数を掛け、その値を「わからない」「無回答」を除く総回答数で割って算出しました(加重平均値)。表1に、それぞれの評価点を一覧にしてあります。表側の1~30は政策項目で、この番号が図1上の●に付記してあります。

図1 市の政策の満足度と重要度の相関



【図1について】

市の政策項目1~30について、それぞれ満足度と重要度について評価点を求め、グラフ上に●で示しました。グラフは、満足度を横軸、重要度を縦軸とし、それぞれ最高2点、最低-2点となります。

【図1のA・B・C・D及び表2について】

図1は、おおまかにA・B・C・Dの4つのエリアに分けてみるができます(A・B・C・Dエリアの境界は、満足度の平均値-0.05、重要度の平均値1.06としました)。

- A: 満足度は低いが重要度は高い
- B: 満足度も重要度も高い
- C: 満足度は低いが重要度はそれほど高くはない
- D: 満足度は高いが重要度はそれほど高くはない

A～Dにはそれぞれの政策項目の優先度に対応させることができます。

- A: 早急な対応が求められる
- B: より強化することが期待される
- C: 他政策との優先順位を考えて取り組む必要がある
- D: 安定的な維持が期待される

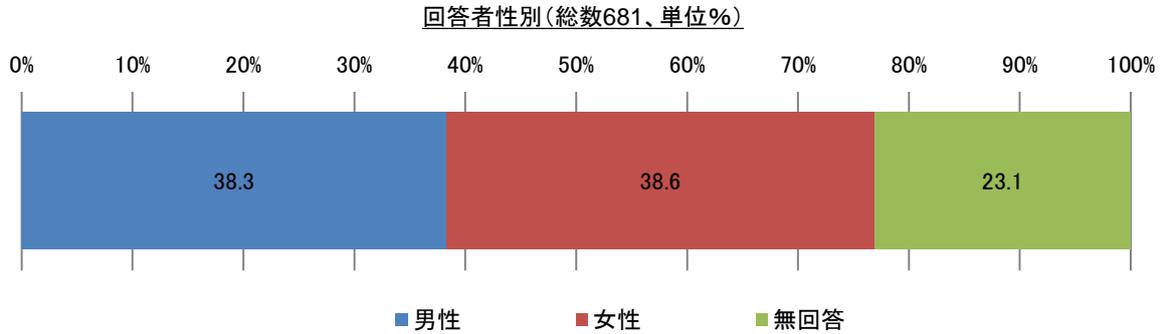
これらに基づき、エリアごと(優先度ごと)に政策項目をまとめなおしたのが表2です。

表2 各政策項目の優先度

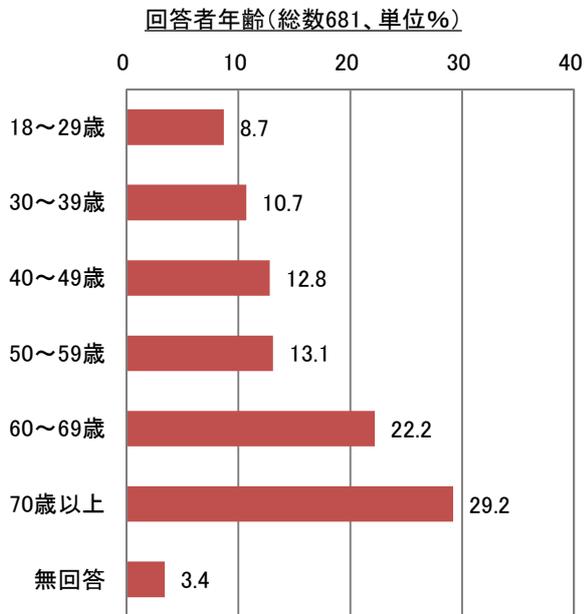
エリア	No.	重要度項目	分野
A 早急な対応が 求められる	7	地域が支え合う福祉体制の確立	健康・福祉
	9	雇用機会の充実と安定	産業・経済
	11	商工業の振興	産業・経済
	23	身近な生活基盤の充実	定住環境
	30	持続可能な財政運営の推進	協働・行政経営
B より強化することが 期待される	1	健やかに産み育てる環境の整備	子育て・学校教育
	2	子育て支援の推進	子育て・学校教育
	3	学校教育の充実	子育て・学校教育
	4	子どもの健全な育成の推進	子育て・学校教育
	5	健康長寿のまちづくり	健康・福祉
	6	地域医療体制の充実	健康・福祉
	10	農林業の振興	産業・経済
	18	防災対策の推進	定住環境
	19	消防・救急体制の充実	定住環境
	20	防犯・交通安全対策の強化	定住環境
	21	衛生環境の向上と資源循環型社会の構築	定住環境
22	水の安全供給	定住環境	
C 他政策との優先順位を 考えて取組む必要がある	8	地域資源をいかした産業の創出	産業・経済
	12	観光・交流の振興	産業・経済
	13	中心市街地の活性化	産業・経済
	14	文化芸術の振興	文化・生涯学習
	15	社会教育・生涯学習の充実	文化・生涯学習
	16	地域の歴史・文化の保存と活用	文化・生涯学習
	17	スポーツの振興	文化・生涯学習
	26	情報発信力の強化	協働・行政経営
29	成果重視による市民満足度の高い行政経営の推進	協働・行政経営	
D 安定的な維持が期待さ れる	24	コミュニティ活動・市民活動の推進	協働・行政経営
	25	男女共同参画、人権・平和尊重社会の形成	協働・行政経営
	27	ICT 活用の推進	協働・行政経営
	28	広域行政の推進	協働・行政経営

最後に、あなた自身のことについて伺います

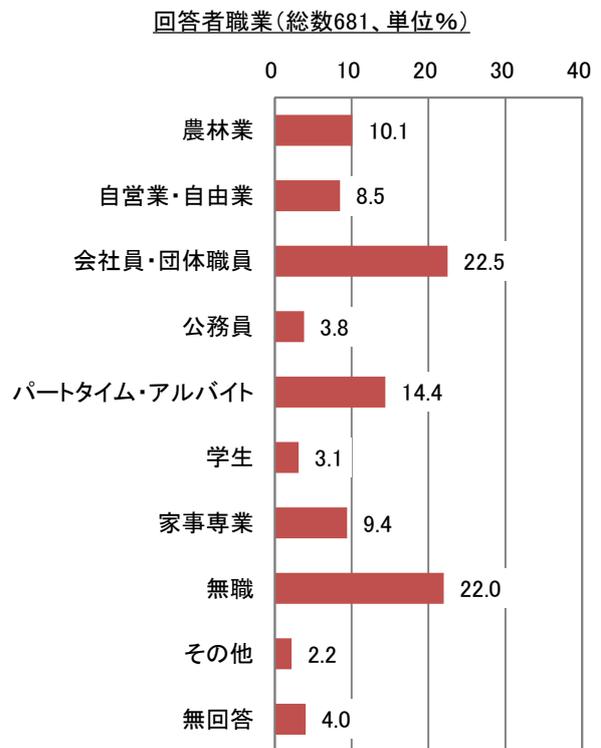
性別



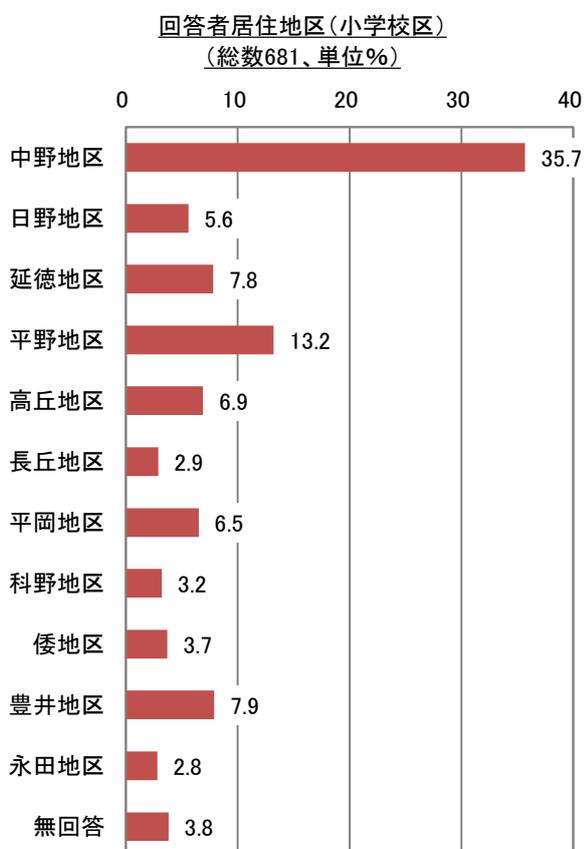
年齢



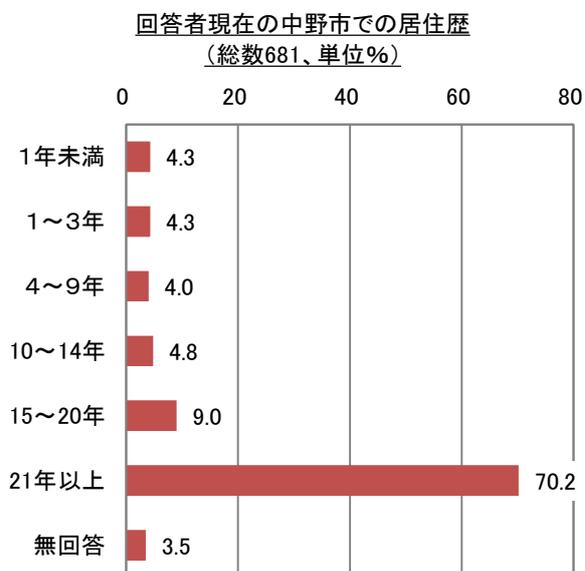
職業



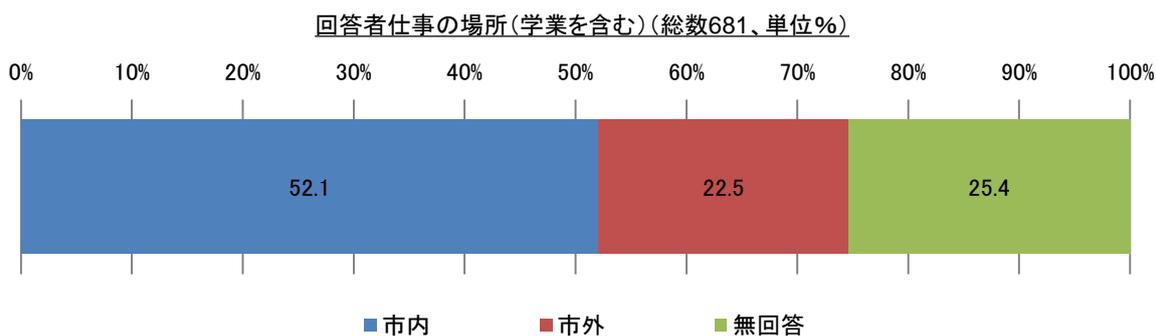
居住地区(小学校区)



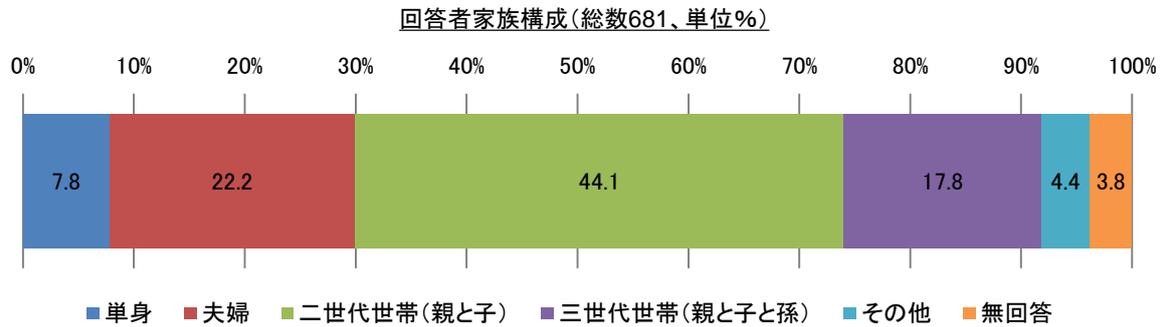
回答者の中野市での居住歴



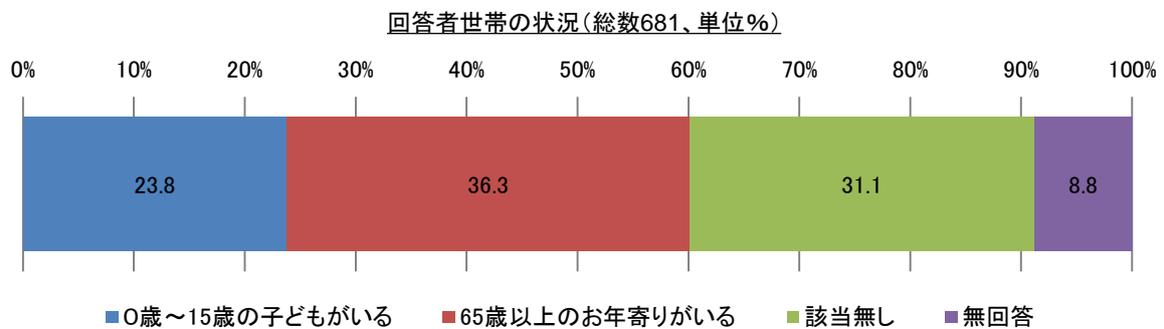
仕事の場所(学業を含む)



家族構成



世帯の状況



お住まい

